
三田市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和5年6月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 圏域、年齢、性別	2
(2) 認定該当状況	2
(3) 回答の記入者	2
3. ご家族や生活状況について	3
(1) 家族構成	3
(2) 暮らし・住まいの状況	5
4. からだを動かすことについて	11
(1) 運動・転倒の状況	11
(2) 外出の状況	16
5. 食べることについて	25
(1) 口腔	25
(2) 栄養	33
6. 毎日の生活について	39
(1) 物忘れ	39
(2) IADL の状況	44
(3) 社会との関わり	51
(4) 趣味・生きがい	60
7. 地域での活動について	64
(1) 地域活動への参加状況	64
(2) 地域づくりへの参加意向	66
8. たすけあいについて	70
(1) 周囲との相互の関係	70
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手	74
(3) 友人・知人との関係性	75

9. 健康について	79
(1) 健康状態	79
(2) 飲酒・喫煙	86
(3) 病気の状況	88
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について	90
11. その他の項目について	93

1. 調査概要

(1) 調査目的

令和6年度から令和8年度までの「三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（いきいき安心プラン 21）」策定にあたり、厚生労働省が提示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」を基にして、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加の状況を把握し、地域課題を特定するため、三田市内にお住まいの高齢者に対して、日頃の生活や介護予防、地域とのつながり、介護の状況やサービスの利用意向などの実態を調査し計画策定における基礎的な資料を作成することを目的に実施しました。

(2) 調査の実施について

調査種類	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
対象者	三田市内に住む高齢者 3,300 人 (要介護認定を受けていない方、及び要支援1・2の方から無作為抽出)
実施期間	令和5年2月2日（木）から令和5年2月24日（金）
実施方法	郵送配布、郵送回収またはWEB回収（回収率向上のための礼状兼督促はがきを実施）
回収状況	配布数：3,300件 有効回収数：2,310件（郵送：2,177件、WEB：133件） 有効回答率：70.0%

(3) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer) と記載しています。
4. 各種リスク判定の「非該当」には判定不能の場合も含まれます。
5. 調査票の居住地域の問いにおいて「市外」と回答した場合、圏域別の集計からは除いています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
6. 性・年齢別の集計における「その他」は、調査票の選択肢「どちらともいえない」「回答しない」を指します。

2. 回答者の属性

(1) 圏域、年齢、性別

単位：％

	母数 (n)	圏域						無回答	
		南三 田・三 輪	野三 輪北・ 高平・小	広野 ・本庄	藍	フラ ワー	ウッ ディ・ カル チャー		
全体	2,310	19.7	16.5	14.1	14.8	16.5	17.1	1.3	
性別	男性	1,044	16.9	15.4	15.3	17.0	17.2	17.7	0.4
	女性	1,236	22.3	17.6	13.1	12.9	16.3	17.0	0.6
	その他	4	25.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-
年齢	前期高齢者	1,174	15.8	16.5	13.2	17.3	18.1	18.7	0.4
	後期高齢者	1,106	24.1	16.6	15.4	12.4	15.1	15.7	0.6
性・年齢	男性 前期高齢者	595	14.3	15.3	13.6	20.7	17.1	18.7	0.3
	後期高齢者	445	20.4	15.5	17.8	12.1	17.1	16.6	0.4
	女性 前期高齢者	575	17.4	17.9	12.7	13.7	19.1	18.6	0.5
	後期高齢者	654	26.8	17.3	13.6	12.4	13.9	15.3	0.8
	その他 前期高齢者	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-
	後期高齢者	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-

(2) 認定該当状況

単位：％

	母数 (n)	認定該当状況				
		受 け て い な い	要 支 援 1	要 支 援 2	無 回 答	
全体	2,310	81.7	10.3	4.5	3.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	595	95.0	1.8	1.8	1.3
	後期高齢者	445	76.4	13.7	6.7	3.1
	女性 前期高齢者	575	93.6	3.5	1.0	1.9
	後期高齢者	654	65.7	21.9	8.7	3.7
	その他 前期高齢者	2	100.0	-	-	-
	後期高齢者	2	100.0	-	-	-
圏域	三田・三輪南	455	79.6	12.1	5.5	2.9
	三輪北・小野・高平	381	82.9	8.4	4.2	4.5
	広野・本庄	325	85.5	6.5	4.6	3.4
	藍	341	88.9	5.6	4.1	1.5
	フラワー	382	80.4	14.1	4.7	0.8
	ウッディ・カルチャー	396	79.0	14.4	4.3	2.3

(3) 回答の記入者

単位：％

	母数 (n)	回答の記入者						
		あ て 名 の こ 本 人	主 な 介 護 者 と な っ て い る 家 族 ・ 親 族	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族	不 調 査 対 象 者 の ケ ア マ	そ の 他	無 回 答	
全体	2,310	91.4	3.7	0.7	-	0.3	3.9	
性・年齢	男性 前期高齢者	595	96.3	1.7	0.2	-	-	1.8
	後期高齢者	445	88.5	6.1	0.9	-	0.9	3.6
	女性 前期高齢者	575	96.5	0.7	0.9	-	0.2	1.7
	後期高齢者	654	87.6	6.3	0.9	-	0.2	5.0
	その他 前期高齢者	2	50.0	-	-	-	-	50.0
	後期高齢者	2	50.0	-	-	-	-	50.0
圏域	三田・三輪南	455	91.6	4.2	0.7	-	0.2	3.3
	三輪北・小野・高平	381	92.1	2.6	0.5	-	0.3	4.5
	広野・本庄	325	92.3	3.7	0.6	-	0.6	2.8
	藍	341	93.5	2.6	0.6	-	-	3.2
	フラワー	382	93.2	3.9	1.3	-	0.3	1.3
	ウッディ・カルチャー	396	91.2	4.5	0.5	-	0.3	3.5
当該認定状況	一般高齢者	1,888	94.9	1.2	0.7	-	0.3	2.9
	要支援1・2	344	78.5	17.2	0.6	-	-	3.8

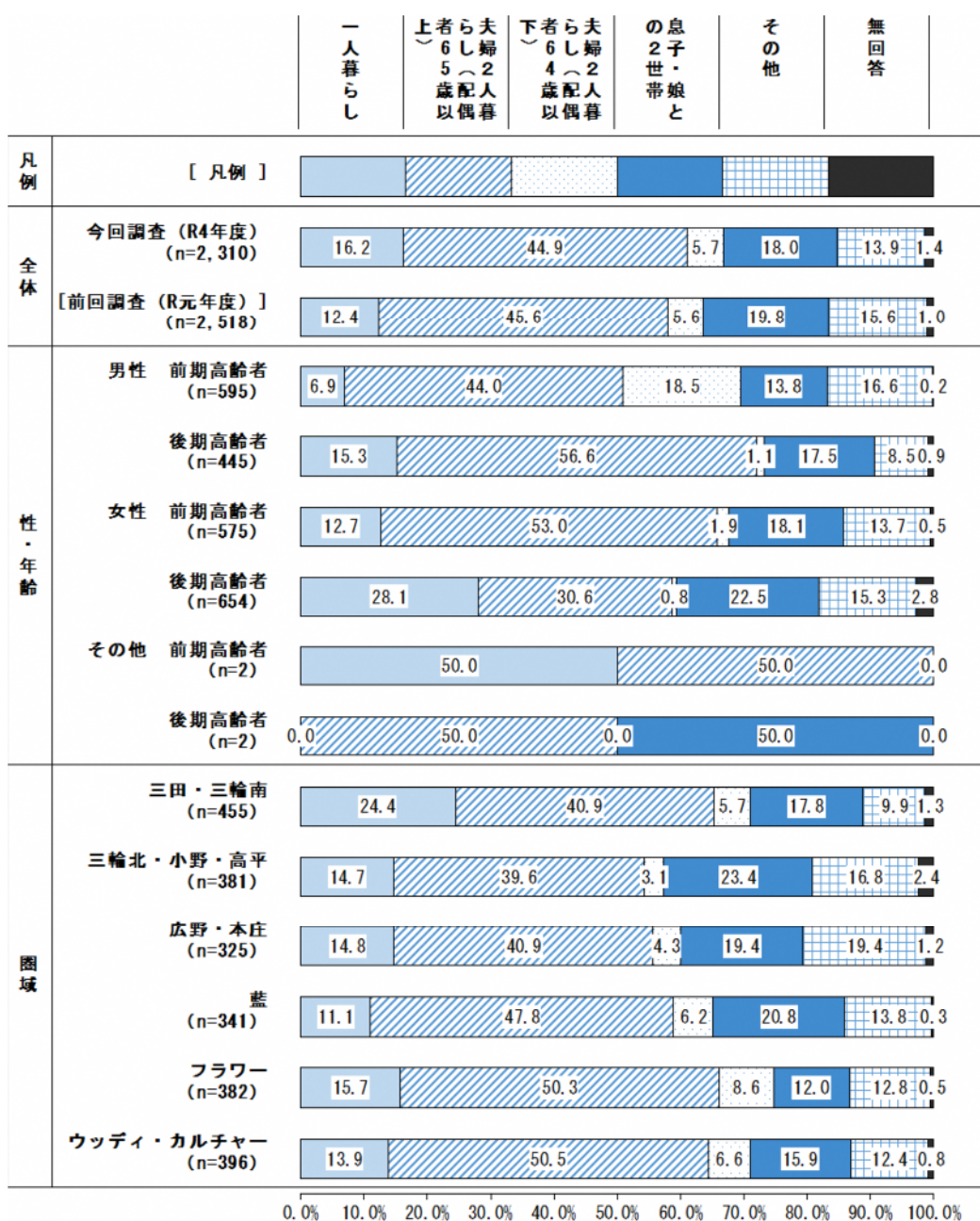
3. ご家族や生活状況について

(1) 家族構成

●問1 家族構成をお教えてください。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）」が44.9%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が18.0%、「一人暮らし」が16.2%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 女性の後期高齢者では「一人暮らし」が28.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【圏域】**
 ○ 三田・三輪南では「一人暮らし」が2割を超えています。三輪北・小野・高平、広野・本庄、藍では「息子・娘との2世帯」が約2割と他の圏域と比べて多く、フラワー、ウッディ・カルチャーでは他の圏域と比べて少なくなっています。

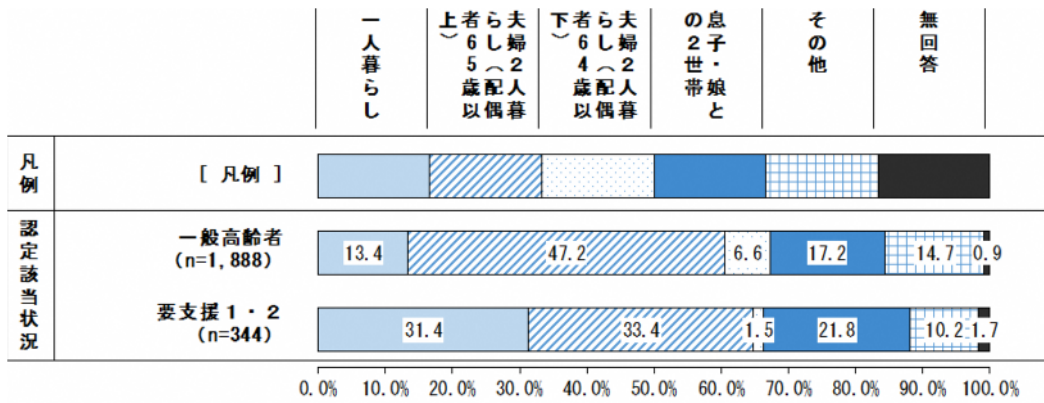
【家族構成】



【認定該当状況】

○ 要支援1・2では、「夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）」が33.4%で最も多く、次いで「一人暮らし」が31.4%となっています。

【家族構成】



(2) 暮らし・住まいの状況

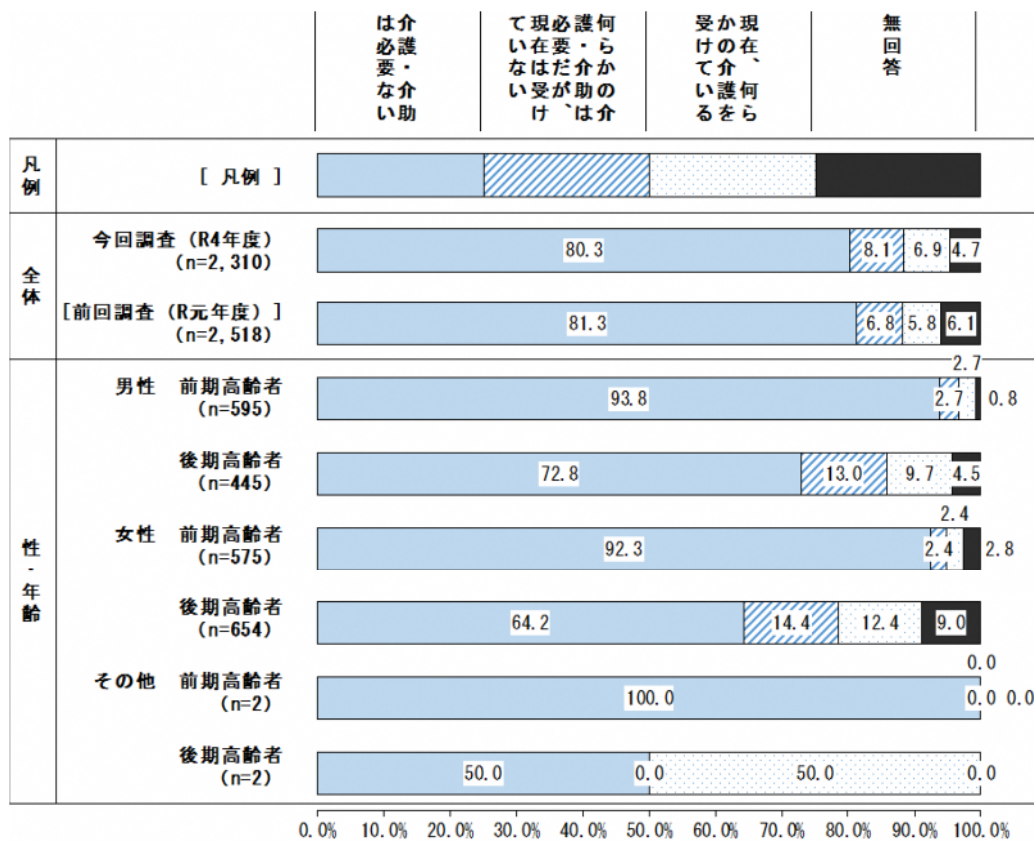
① 介護・介助の必要性

●問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が80.3%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が6.9%となっています。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた“介護・介助が必要”は15.0%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“介護・介助が必要”が多くなっています。

【介護・介助の必要性】



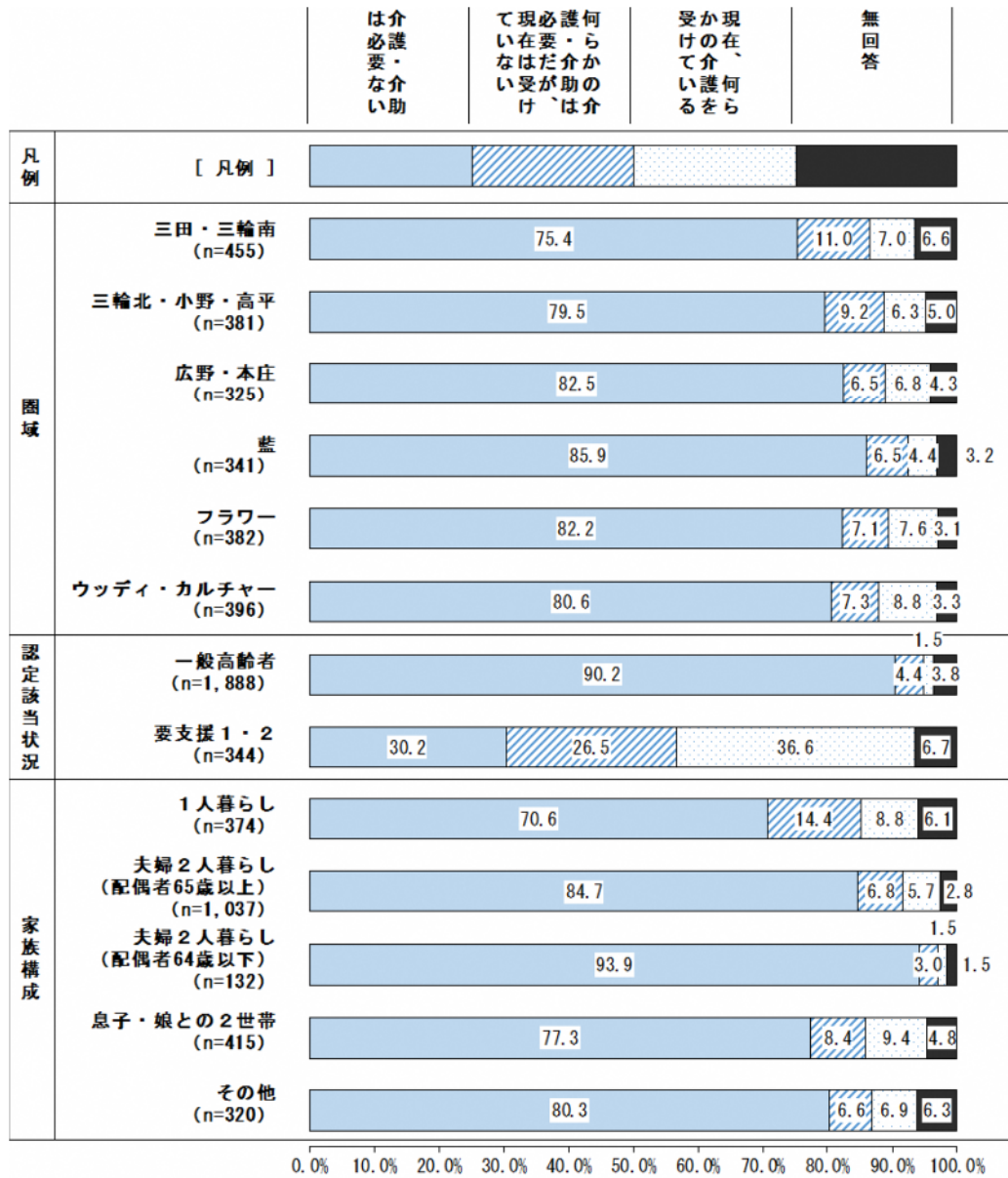
【認定該当状況】

○ 要支援1・2では63.1%が“介護・介助が必要”となっています。

【家族構成】

○ 1人暮らしでは、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が14.4%、「現在、何らかの介護を受けている」が8.8%となっています。

【介護・介助の必要性】



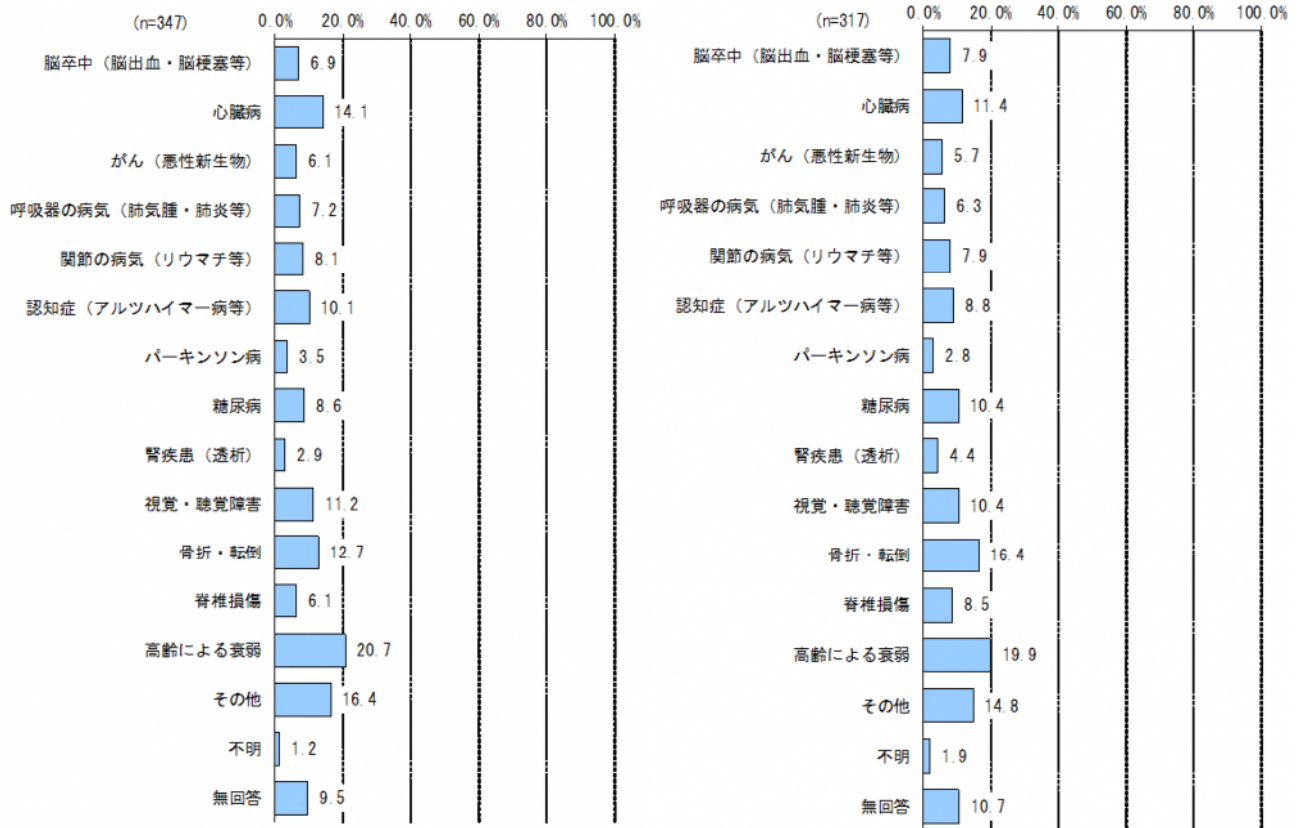
●問3 [介護・介助が必要な方のみ] 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつかでも)

【全体】
 ○ 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が20.7%で最も多く、次いで「その他」が16.4%、「心臓病」が14.1%となっています。「その他」の内容として、脊髄管狭窄症、膝関節の痛み・手術等が多くなっています。

【介護・介助が必要になった主な原因(MA)】

[今回調査 (R4 年度)]

[前回調査 (R 元年度)]



単位：%

性・年齢	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)																
		脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	
全体	347	6.9	14.1	6.1	7.2	8.1	10.1	3.5	8.6	2.9	11.2	12.7	6.1	20.7	16.4	1.2	9.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	32	6.3	-	18.8	6.3	6.3	12.5	12.5	9.4	12.5	6.3	9.4	6.3	3.1	6.3	-	6.3
	男性 後期高齢者	101	13.9	22.8	7.9	11.9	11.9	9.9	1.0	15.8	1.0	13.9	7.9	7.9	26.7	17.8	1.0	3.0
	女性 前期高齢者	28	10.7	10.7	7.1	3.6	-	10.7	10.7	7.1	3.6	10.7	3.6	10.7	21.4	21.4	3.6	-
	女性 後期高齢者	175	2.9	12.6	2.3	5.7	7.4	9.7	1.7	4.6	1.7	11.4	18.3	4.6	21.1	17.1	0.6	14.3
圏域	その他 前期高齢者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他 後期高齢者	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	三田・三輪南	82	4.9	11.0	7.3	9.8	7.3	17.1	4.9	11.0	1.2	9.8	7.3	6.1	24.4	15.9	-	7.3
	三輪北・小野・高平	59	6.8	15.3	5.1	6.8	10.2	6.8	-	8.5	3.4	10.2	6.8	3.4	25.4	13.6	3.4	23.7
	広野・本庄	43	9.3	9.3	-	4.7	7.0	9.3	4.7	11.6	2.3	11.6	23.3	4.7	18.6	14.0	-	9.3
	藍	37	10.8	13.5	5.4	2.7	8.1	2.7	2.7	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	18.9	2.7	16.2
状況 該当	フラワー	56	3.6	25.0	12.5	8.9	8.9	10.7	-	8.9	3.6	19.6	23.2	3.6	19.6	14.3	1.8	1.8
	ウッディ・カルチャー	64	9.4	12.5	3.1	7.8	6.3	7.8	6.3	3.1	-	9.4	12.5	10.9	21.9	21.9	-	3.1
	一般高齢者	113	10.6	13.3	6.2	2.7	8.8	10.6	2.7	9.7	5.3	11.5	7.1	5.3	19.5	15.0	0.9	15.0
要支援 1・2	217	5.5	15.7	6.0	10.1	6.9	10.1	3.7	7.4	1.4	11.5	15.7	6.9	20.7	18.0	1.4	6.9	

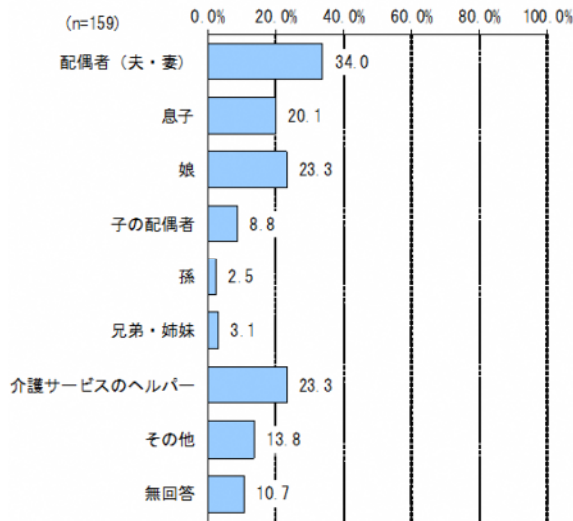
② 主な介護者

- 問4 「介護を受けている方のみ」主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

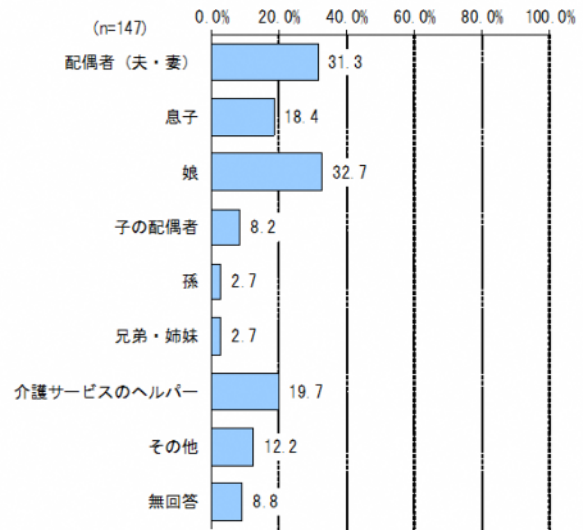
【全体】
○ 主な介護者について、「配偶者（夫・妻）」が34.0%で最も多く、次いで「娘」「介護サービスのヘルパー」が23.3%、「息子」が20.1%となっています。「その他」の内容として、選択肢以外の家族等が多くなっています。
【圏域】
○ 三田・三輪南では「娘」が43.8%、藍では「配偶者（夫・妻）」が60.0%と他の圏域に比べて多くなっています。
【家族構成】
○ 1人暮らしでは、「介護サービスのヘルパー」が57.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【主な介護者(MA)】

[今回調査 (R4 年度)]



[前回調査 (R 元年度)]



単位：%

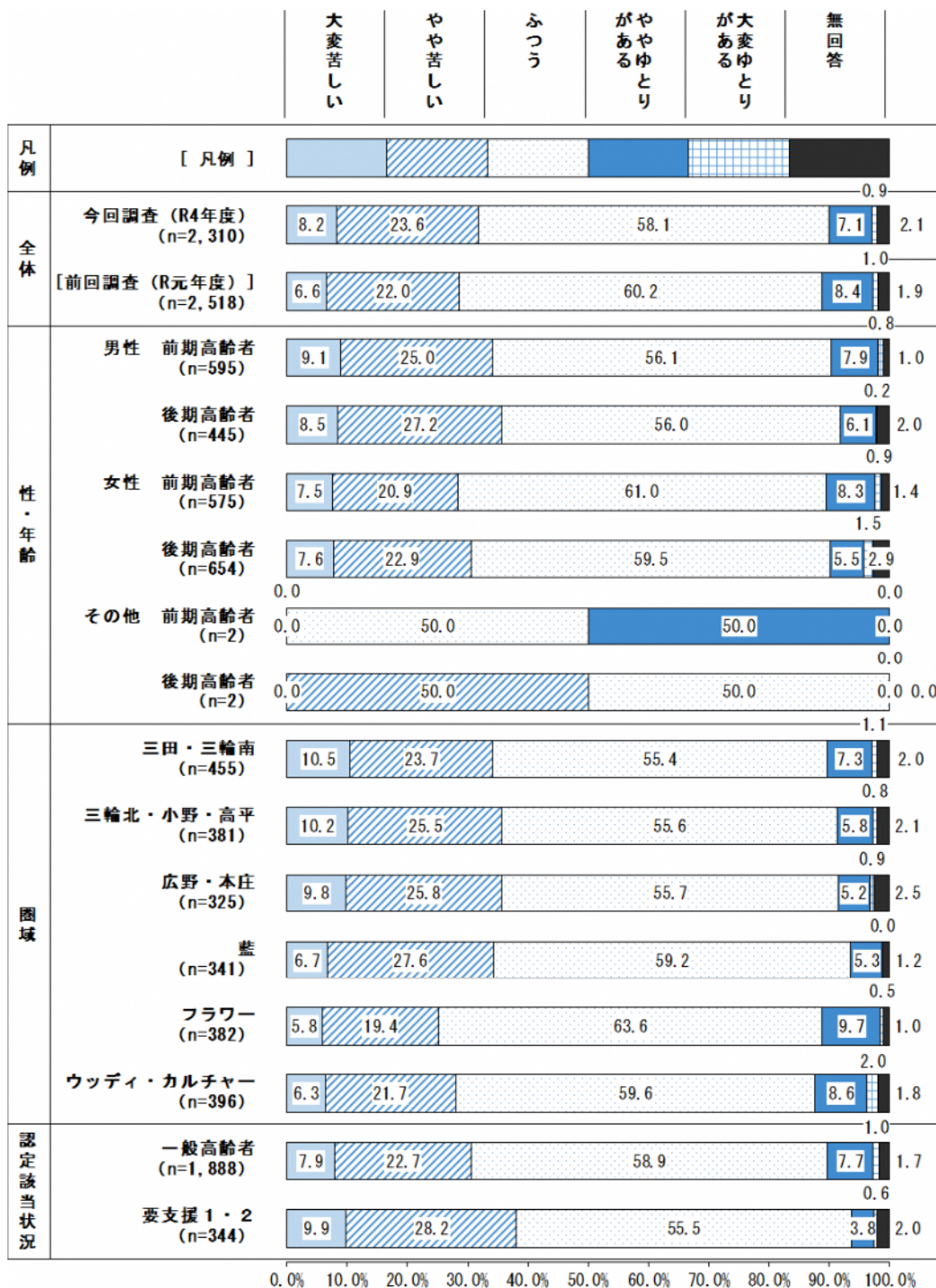
	母数 (n)	主な介護者(MA)									
		(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答	
全体	159	34.0	20.1	23.3	8.8	2.5	3.1	23.3	13.8	10.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	16	75.0	12.5	18.8	6.3	-	12.5	6.3	6.3	6.3
	男性 後期高齢者	43	46.5	9.3	11.6	4.7	-	2.3	27.9	20.9	7.0
	女性 前期高齢者	14	35.7	35.7	14.3	14.3	-	7.1	7.1	21.4	7.1
	女性 後期高齢者	81	17.3	24.7	33.3	9.9	4.9	1.2	28.4	11.1	13.6
	その他 前期高齢者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他 後期高齢者	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
圏域	三田・三輪南	32	37.5	18.8	43.8	6.3	3.1	6.3	25.0	6.3	3.1
	三輪北・小野・高平	24	25.0	25.0	4.2	8.3	-	4.2	20.8	16.7	25.0
	広野・本庄	22	31.8	18.2	18.2	18.2	9.1	4.5	18.2	31.8	4.5
	藍	15	60.0	13.3	20.0	6.7	-	-	13.3	13.3	6.7
	フラワー	29	17.2	10.3	27.6	3.4	3.4	-	27.6	13.8	17.2
当該認定状況当定	ウッドィ・カルチャー	35	37.1	31.4	20.0	11.4	-	2.9	28.6	8.6	8.6
	一般高齢者	29	48.3	24.1	20.7	10.3	3.4	6.9	-	10.3	13.8
	要支援1・2	126	29.4	19.0	24.6	7.9	2.4	2.4	29.4	15.1	10.3
家族構成	1人暮らし	33	-	12.1	24.2	6.1	3.0	9.1	57.6	24.2	9.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	59	72.9	8.5	11.9	1.7	-	-	20.3	6.8	10.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	2	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
	息子・娘との2世帯	39	12.8	38.5	38.5	17.9	2.6	-	10.3	12.8	10.3
	その他	22	18.2	22.7	27.3	13.6	9.1	4.5	9.1	22.7	13.6

③ 経済状況

●問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 経済状況について、「ふつう」が58.1%で最も多く、次いで「やや苦しい」が23.6%、「大変苦しい」が8.2%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”は31.8%となっています。

【経済状況】



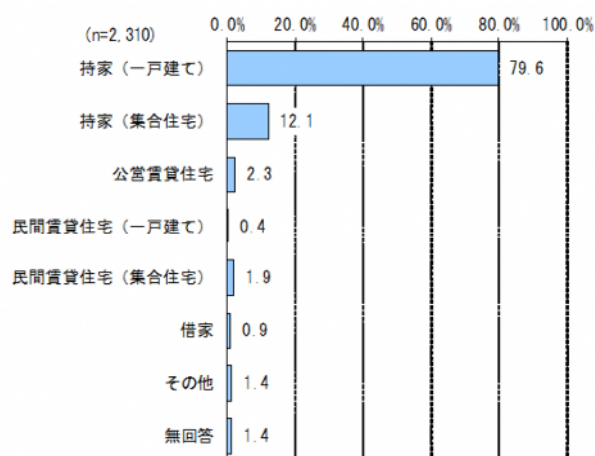
④ 住まいの状況

●問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

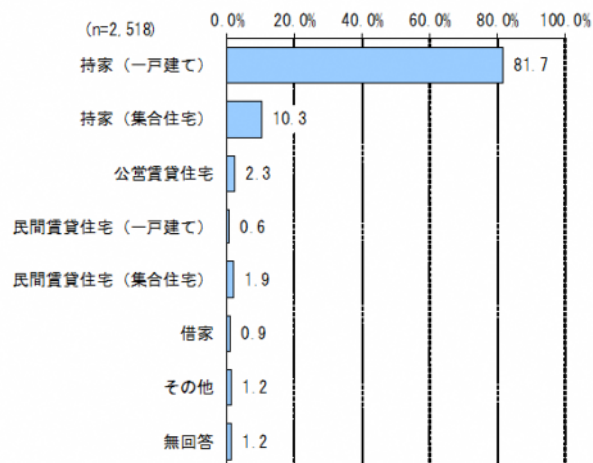
【全体】
 ○ 住まいについて、「持家（一戸建て）」が79.6%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が12.1%、「公営賃貸住宅」が2.3%となっています。

【住まい】

[今回調査 (R4 年度)]



[前回調査 (R 元年度)]



単位：%

	母数 (n)	住まい								
		持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答	
全体	2,310	79.6	12.1	2.3	0.4	1.9	0.9	1.4	1.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	595	80.2	15.1	0.8	0.2	1.2	1.0	0.7	0.8
	後期高齢者	445	81.8	9.9	2.0	0.4	2.2	0.9	1.6	1.1
	女性 前期高齢者	575	81.0	11.7	2.1	0.3	2.3	0.3	1.0	1.2
	後期高齢者	654	77.5	11.2	4.0	0.6	2.1	0.8	2.3	1.5
圏域	その他 前期高齢者	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
	後期高齢者	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	三田・三輪南	455	67.3	14.9	5.7	0.7	6.6	1.5	2.2	1.1
	三輪北・小野・高平	381	92.4	0.8	-	0.8	-	1.8	2.9	1.3
	広野・本庄	325	91.7	2.8	-	0.6	0.6	0.9	1.2	2.2
	藍	341	98.5	-	-	0.3	-	-	-	1.2
状況認定	フラワー	382	61.3	31.2	5.0	-	0.8	0.3	1.0	0.5
	ウッディ・カルチャー	396	74.0	19.7	1.8	-	2.3	0.5	1.0	0.8
	一般高齢者	1,888	81.5	11.8	1.6	0.3	2.0	0.6	1.1	1.1
要支援1・2	344	71.2	14.2	5.8	0.6	1.7	1.7	3.2	1.5	

4. からだを動かすことについて

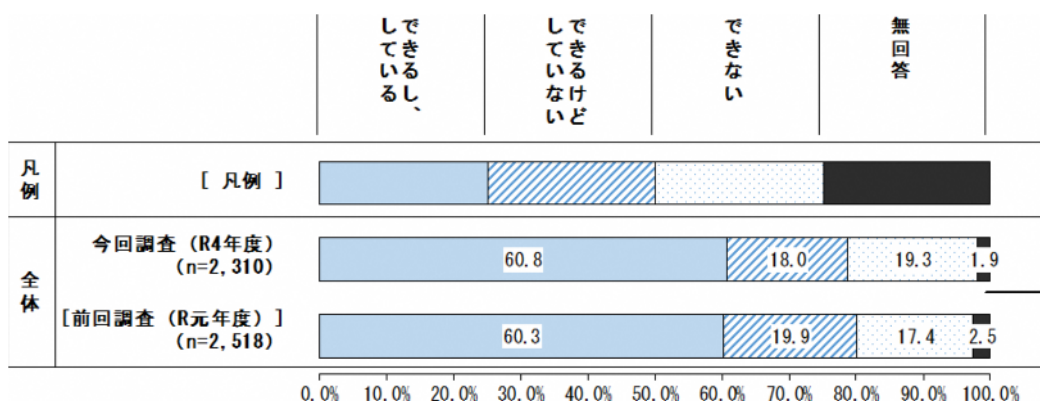
(1) 運動・転倒の状況

- 問7 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)
- 問8 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)
- 問9 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)

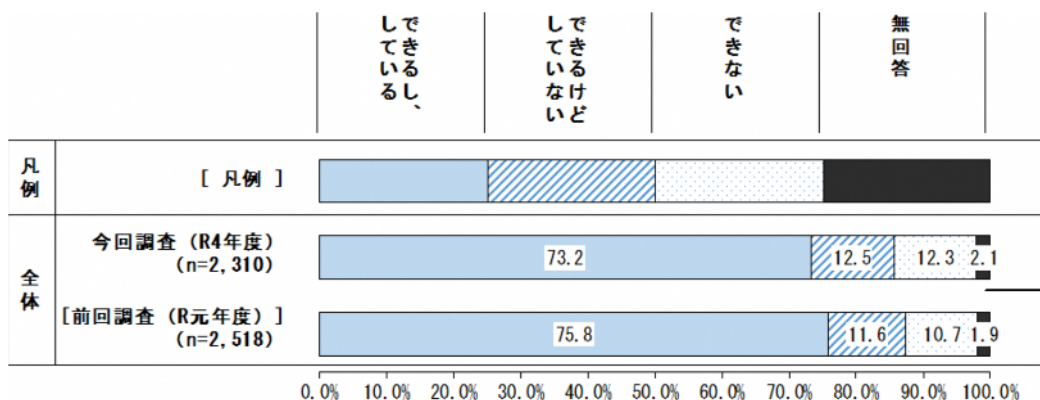
【全体】

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できない」が19.3%となっています。
- 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できない」が12.3%となっています。
- 15分位続けての歩行について、「できない」が8.7%となっています。

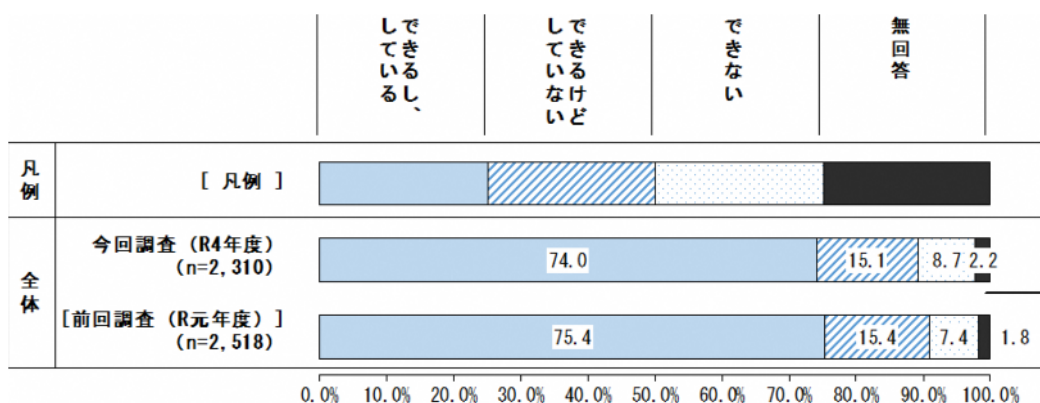
【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】



【椅子に座った状態からの立ち上がり】



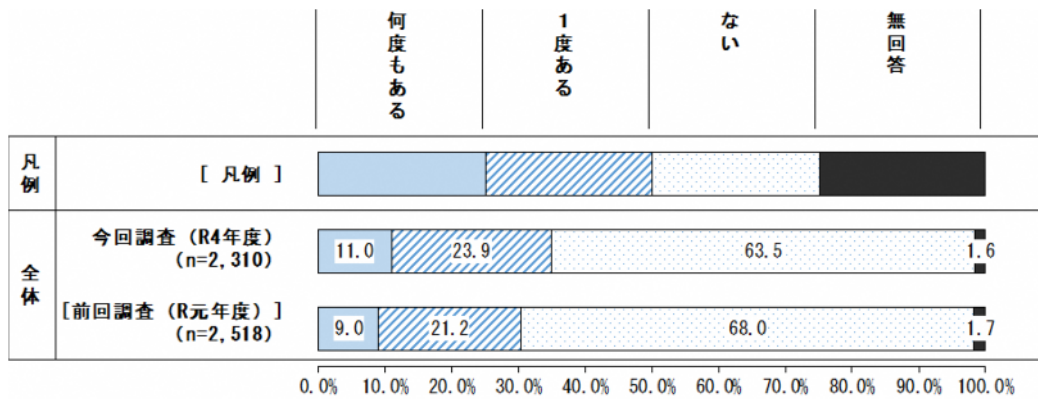
【15分位続けての歩行】



●問10 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 転倒経験について、「ない」が63.5%で最も多く、次いで「1度ある」が23.9%、「何度もある」が11.0%となっています。

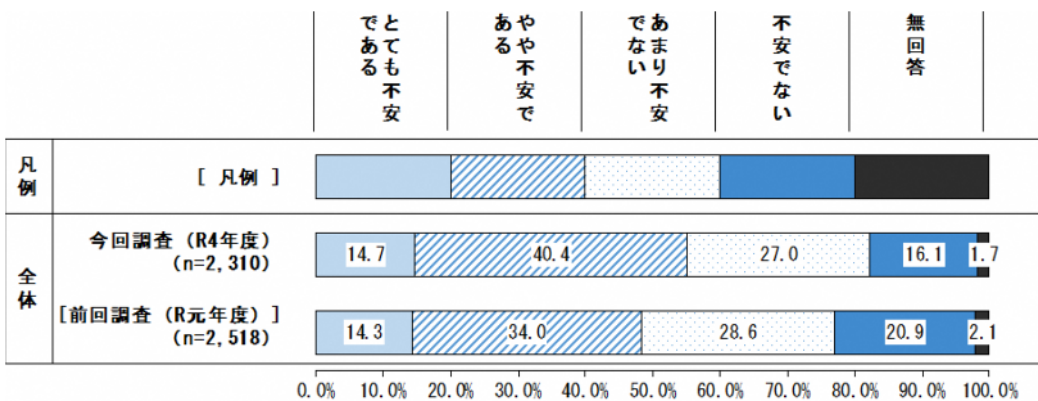
【転倒経験】



●問11 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が40.4%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が27.0%、「不安でない」が16.1%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”は55.1%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、“不安である”が6.8ポイント多くなっています。

【転倒に対する不安】



◆運動器の機能低下リスクの判定

●リスク判定方法

5項目のうち3項目以上に該当する場合、「運動器の機能が低下している」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
7	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
8	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
9	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
10	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
11	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

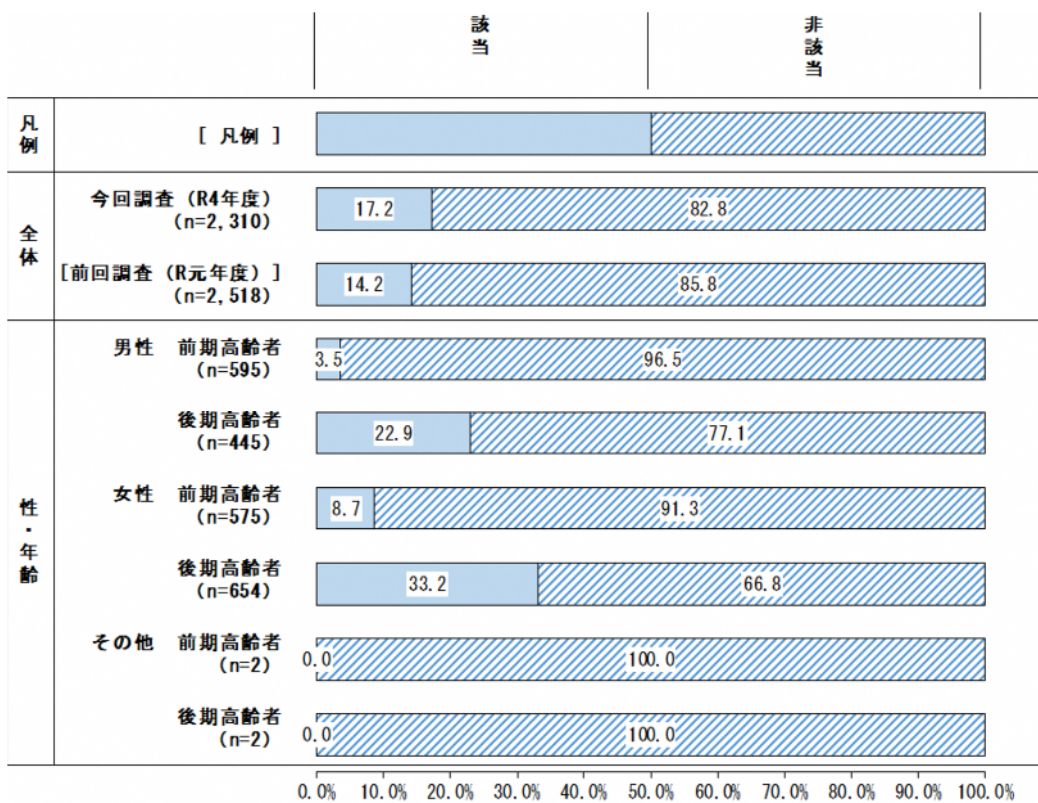
【全体】

○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当（リスクあり）」が17.2%、「非該当（リスクなし）」が82.8%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに前期高齢者では「該当（リスクあり）」が1割未満であるのに対し、後期高齢者では男性で22.9%、女性で33.2%となっています。

【運動器の機能低下リスク】



【圏域】

○ 藍では、他の圏域に比べて「該当（リスクあり）」が少なくなっています。

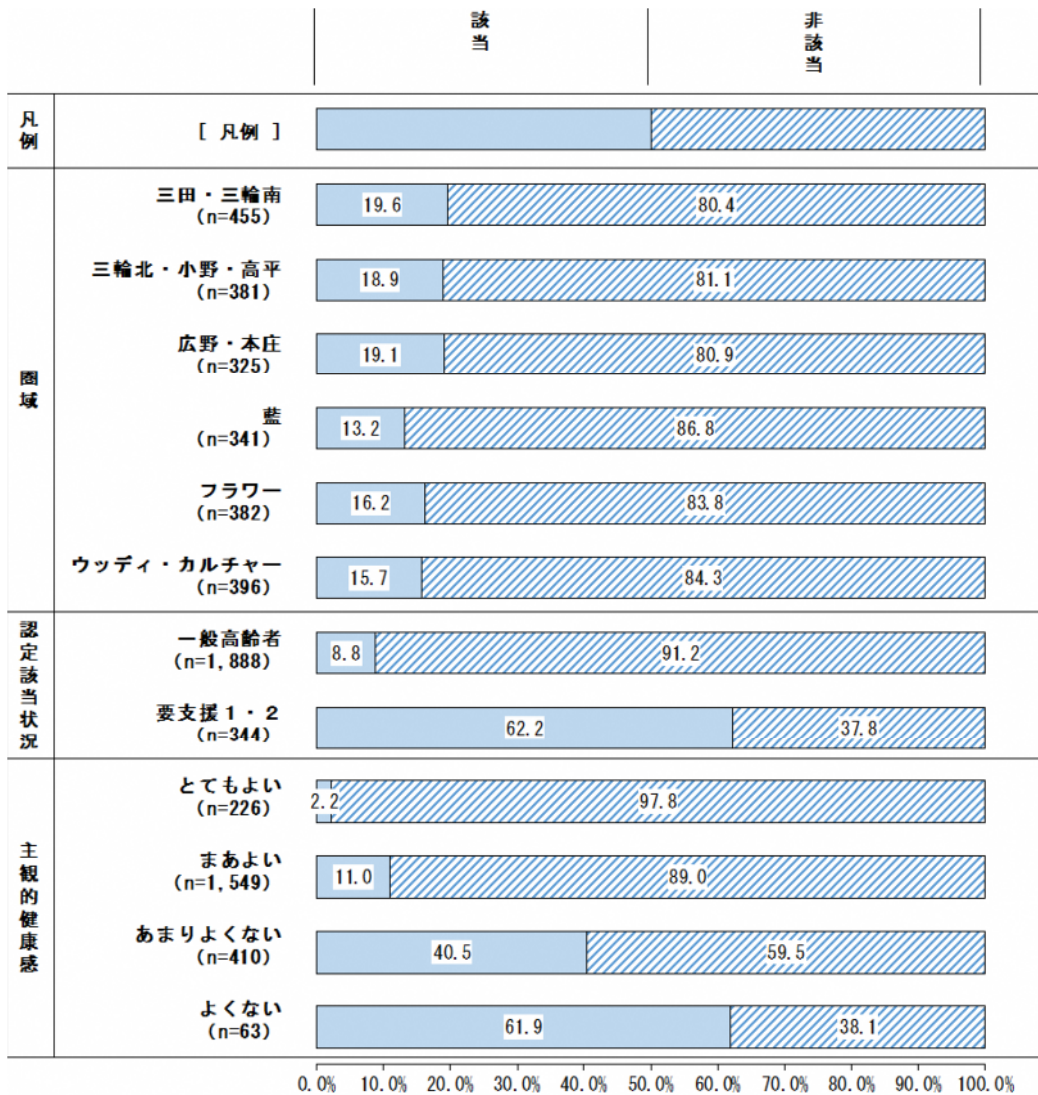
【認定該当状況】

○ 一般高齢者では、「該当（リスクあり）」が 8.8%であるのに対し、要支援1・2では 62.2%となっています。

【主観的健康感※】

○ 健康感がよくない人ほど「該当（リスクあり）」が多くなる傾向がみられます。

【運動器の機能低下リスク】



※主観的健康感…P. 79 参照

◆転倒リスクの判定

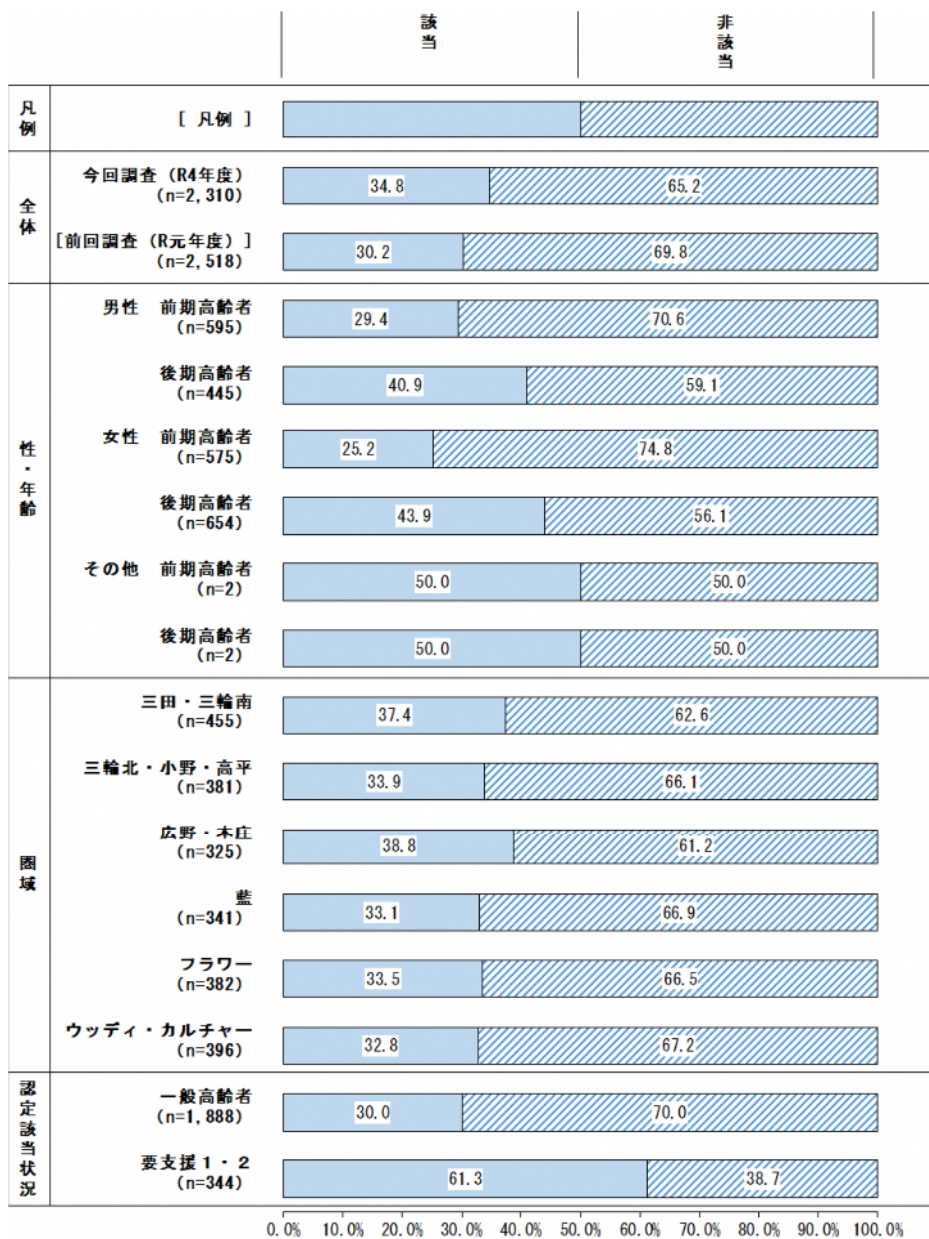
●リスク判定方法

下記に該当する場合、「転倒リスクがある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
10	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【全体】
○ 転倒リスクについて、「該当（リスクあり）」が34.8%、「非該当（リスクなし）」が65.2%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに前期高齢者では「該当（リスクあり）」が約3割、後期高齢者では約4割となっています。
【認定該当状況】
○ 一般高齢者では、「該当（リスクあり）」が30.0%となっています。
○ 要支援1・2では、「該当（リスクあり）」が一般高齢者の2倍となっています。

【転倒リスク】



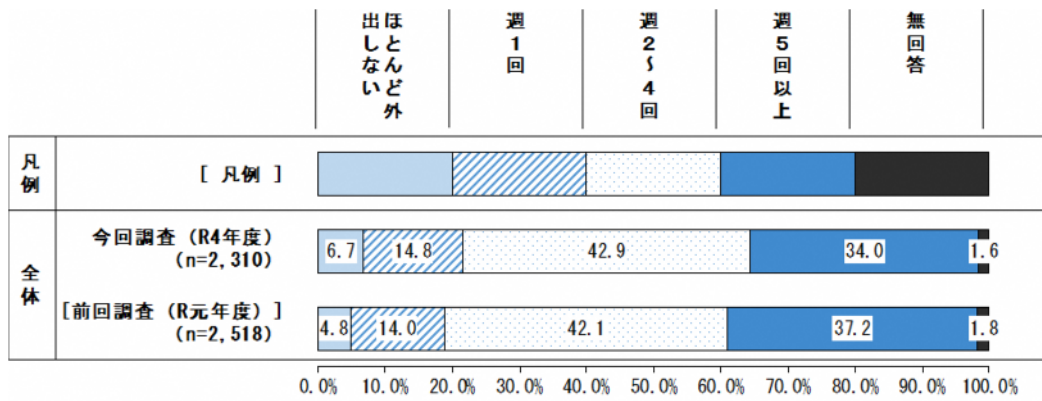
(2) 外出の状況

① 外出の頻度

●問12 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 外出頻度について、「週2～4回」が42.9%で最も多く、次いで「週5回以上」が34.0%、「週1回」が14.8%となっています。

【外出頻度】



◆閉じこもりのリスクの判定

●リスク判定方法

下記に該当する場合、「閉じこもり傾向がある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
12	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

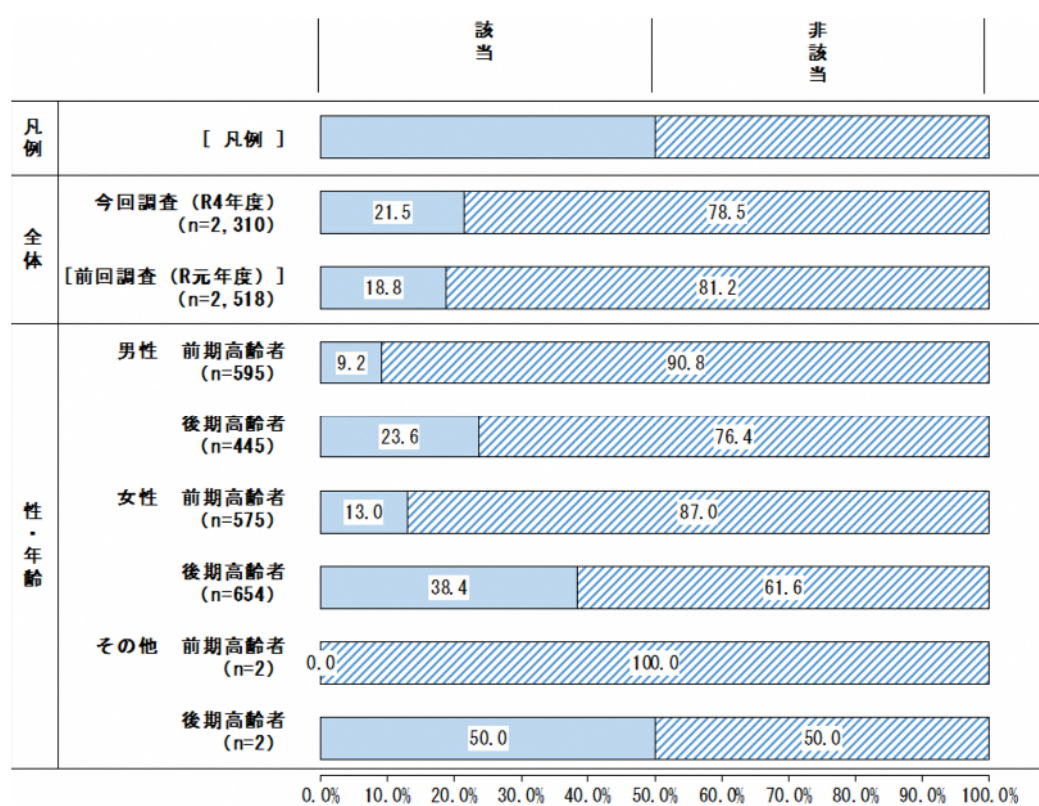
【全体】

- 閉じこもりのリスクについて、「該当（リスクあり）」が21.5%、「非該当（リスクなし）」が78.5%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では「該当（リスクあり）」が約1割であるのに対し、後期高齢者では男性で23.6%、女性で38.4%となっています。

【閉じこもりのリスク】



【圏域】

○ 三輪北・小野・高平、広野・本庄では他の圏域に比べて「該当（リスクあり）」が多くなっています。

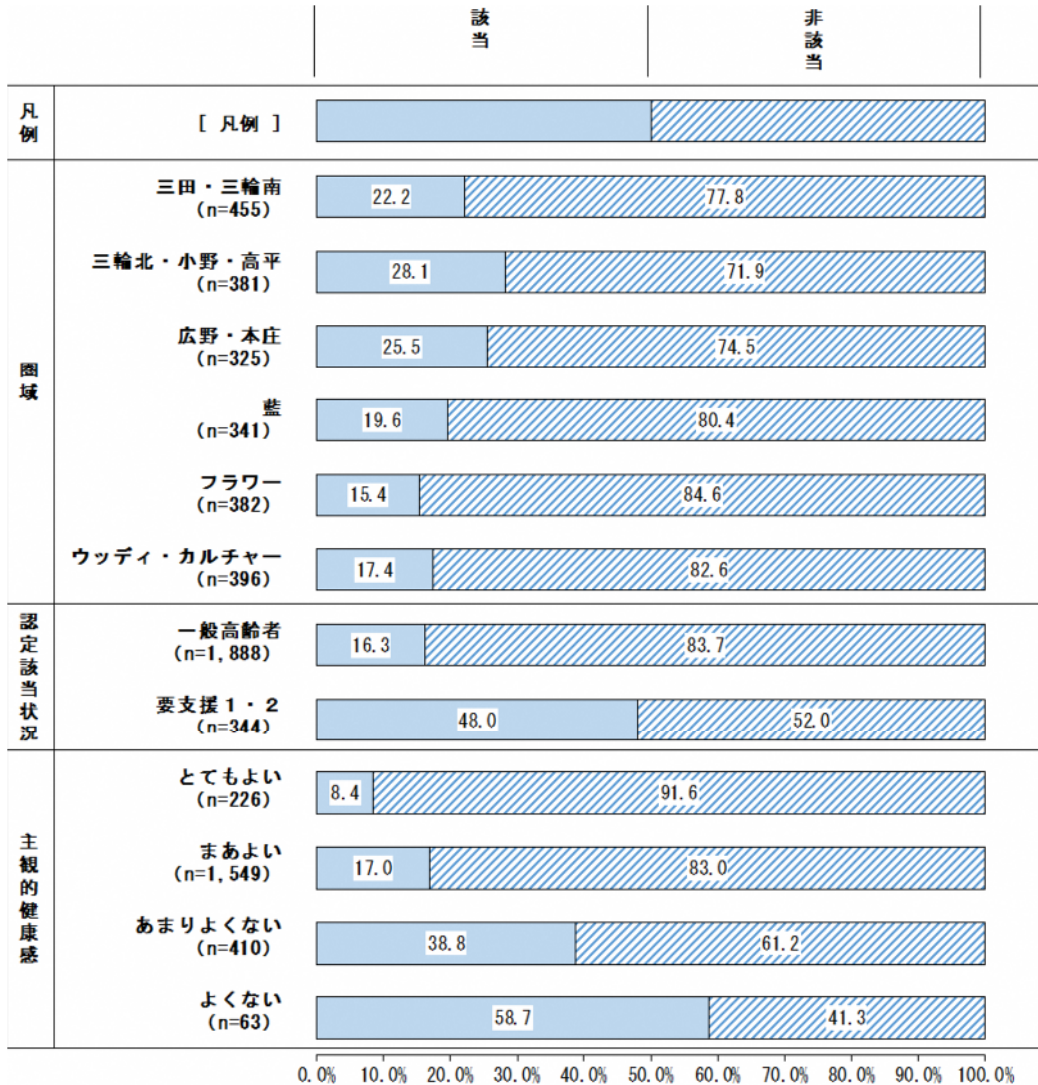
【認定該当状況】

○ 一般高齢者では 16.3%、要支援 1・2 では 48.0%が「該当（リスクあり）」となっています。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくない人ほど「該当（リスクあり）」が多くなる傾向がみられます。

【閉じこもりのリスク】



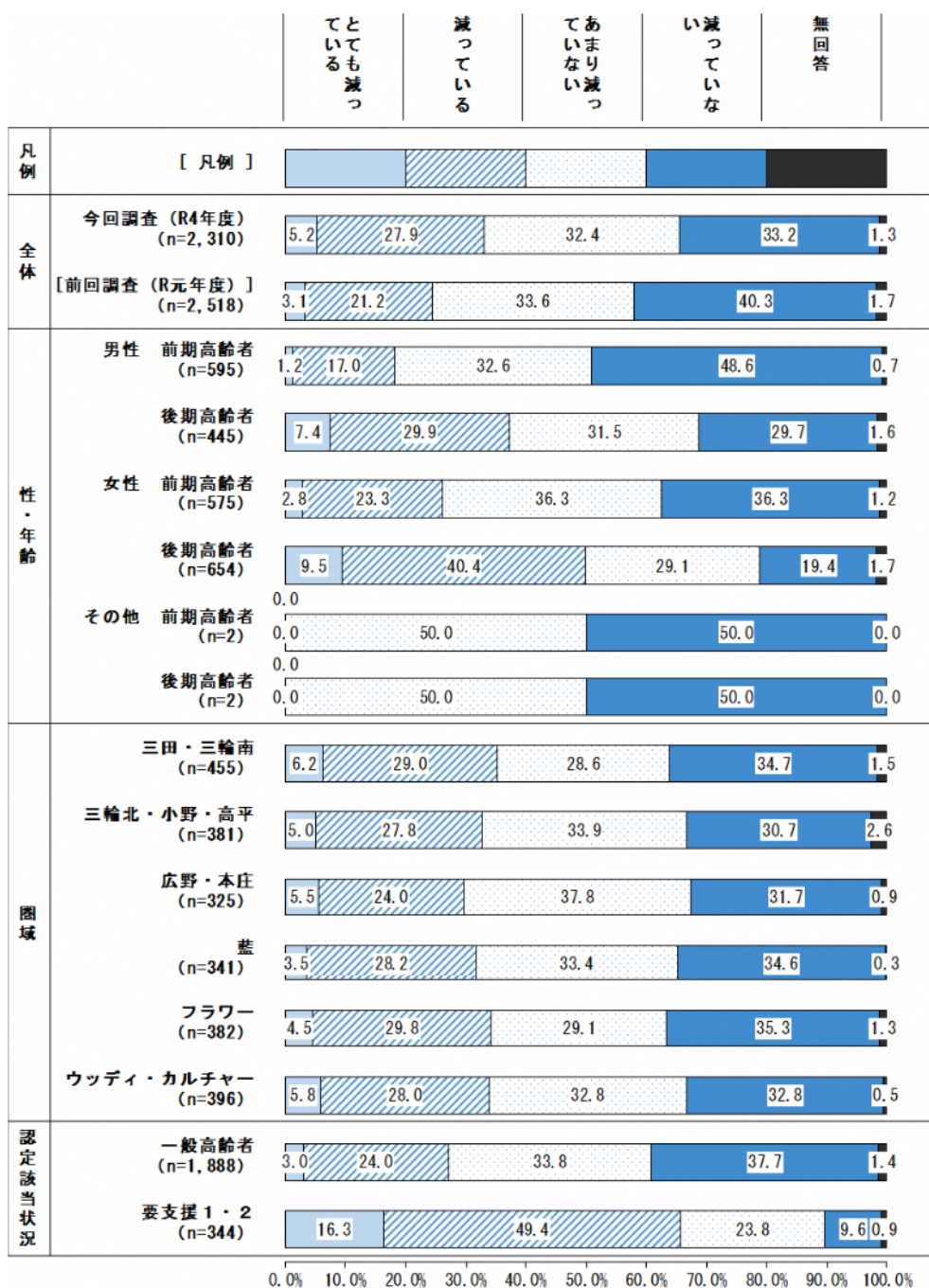
●問13 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 昨年と比べて外出の回数について、「減っていない」が33.2%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が32.4%、「減っている」が27.9%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”は33.1%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“減っている”が多く、特に女性では49.9%となっています。

【認定該当状況】
 ○ 一般高齢者では、“減っている”は27.0%であるのに対し、要支援1・2では65.7%となっています。

【昨年と比べて外出の回数】

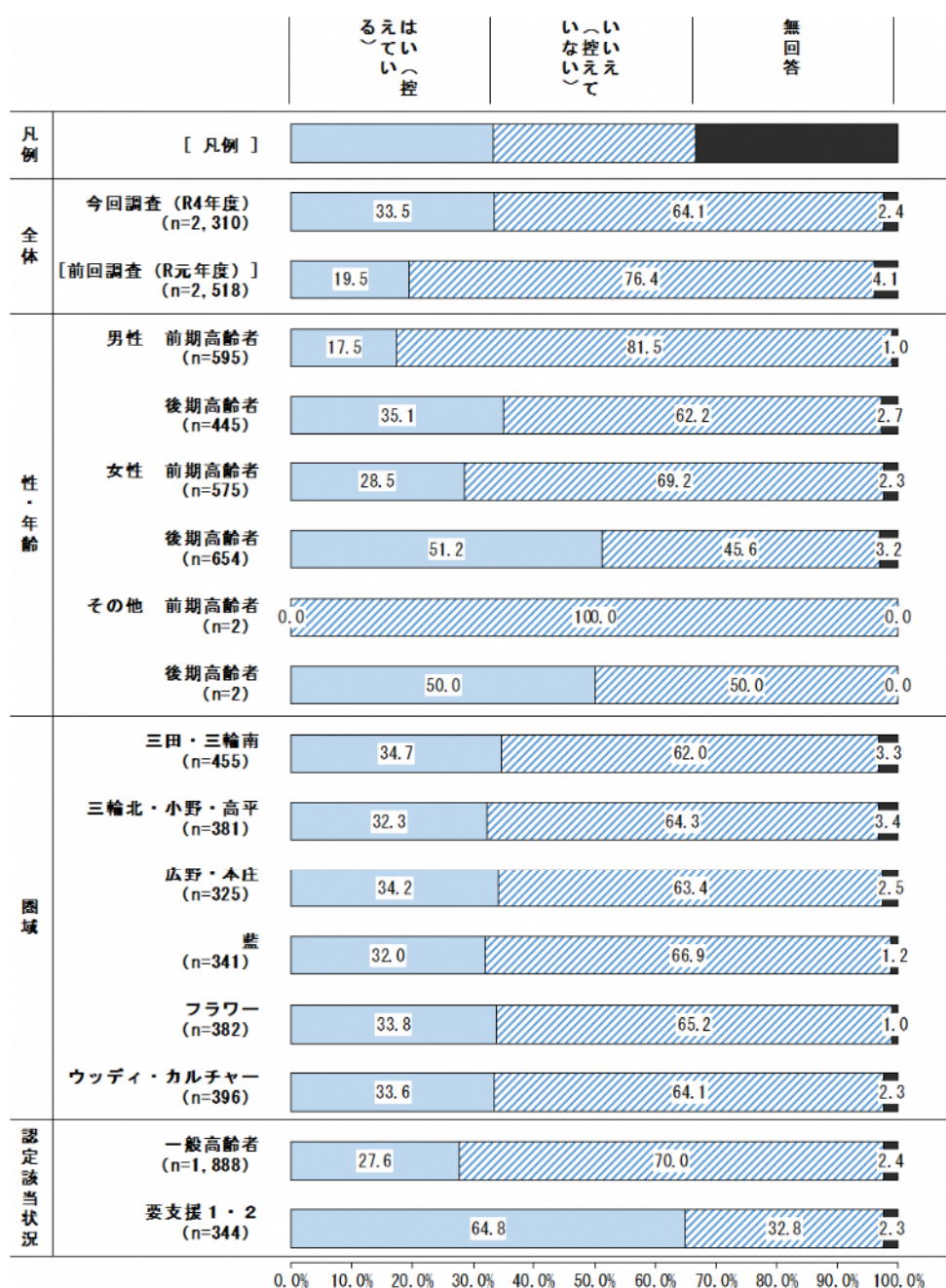


② 外出を控えているか

●問14 外出を控えていますか。(1つだけ)

【全体】
○ 外出を控えているかについて、「はい（控えている）」が 33.5%、「いいえ（控えていない）」が 64.1%となっています。
○ 前回調査と比べて、「はい（控えている）」が 14.0ポイント多くなっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい（控えている）」が多く、特に女性では 51.2%となっています。
【認定該当状況】
○ 一般高齢者では、「はい（控えている）」が 27.6%であるのに対し、要支援1・2では 64.8%となっています。

【外出を控えているか】



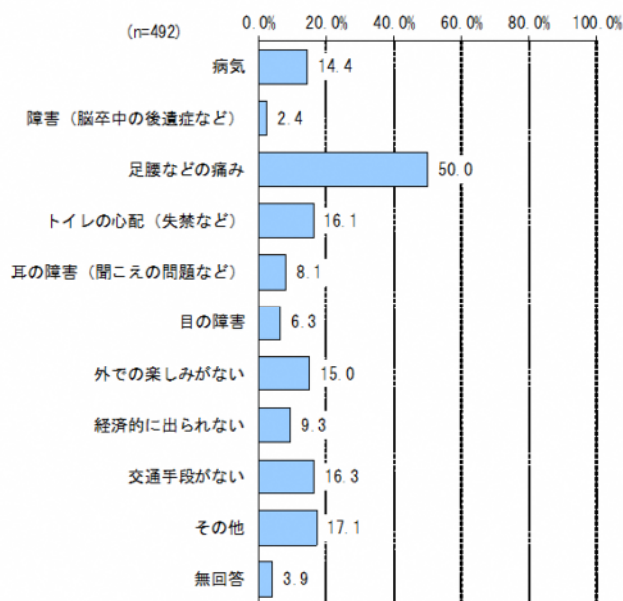
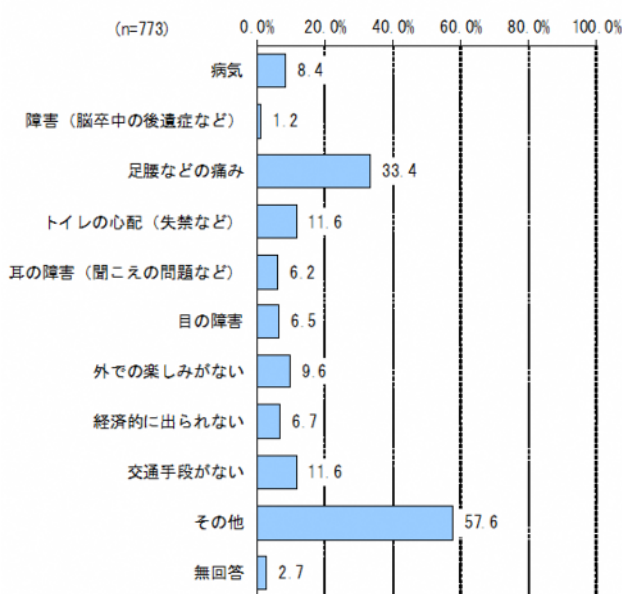
- 問15 [外出を控えている方のみ] 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

【全体】
 ○ 外出を控えている理由について、「その他」が 57.6%で最も多く、次いで「足腰などの痛み」が 33.4%、「トイレの心配（失禁など）」「交通手段がない」が 11.6%となっています。
 ○ その他の内訳をみると、「新型コロナウイルス感染予防」が 87.0%となっています。

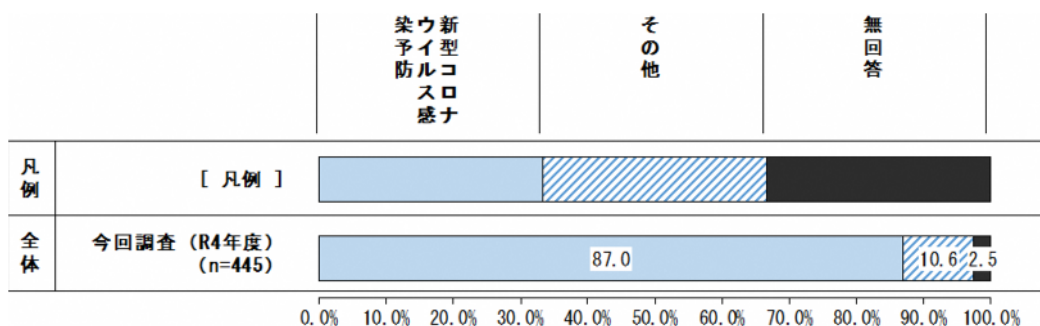
【外出を控えている理由(MA)】

[今回調査 (R4 年度)]

[前回調査 (R 元年度)]



【外出を控えている理由「その他」の内訳】



【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「足腰などの痛み」が多く、約4割となっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「外での楽しみがない」が多く、特に男性では16.7%となっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「交通手段がない」が多く、特に女性では17.9%となっています。

【圏域】

- 「足腰などの痛み」は三田・三輪南が41.1%、三輪北・小野・高平が39.8%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「外での楽しみがない」は広野・本庄が13.5%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「交通手段がない」は三輪北・小野・高平が17.1%、広野・本庄が14.4%と他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では「足腰などの痛み」が23.9%であるのに対し、要支援1・2では55.2%となっています。

単位：%

	母数 (n)	外出を控えている理由(MA)											
		病気	障害 (脳卒中の後遺 症など)	足腰 などの痛み	トイレ の心配 (失禁 など)	耳の 障害 (聞こえの 問題など)	目の 障害	外 での 楽し みが ない	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答	
全体	773	8.4	1.2	33.4	11.6	6.2	6.5	9.6	6.7	11.6	57.6	2.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	104	3.8	-	16.3	9.6	1.9	4.8	2.9	7.7	3.8	77.9	4.8
	後期高齢者	156	14.1	3.2	39.7	20.5	10.3	11.5	16.7	9.0	11.5	47.4	1.3
	女性 前期高齢者	164	8.5	1.2	18.3	3.0	-	-	4.3	6.1	3.0	78.0	1.2
	後期高齢者	335	6.9	0.6	43.0	12.5	9.0	7.8	10.4	6.0	17.9	46.6	3.6
その他	前期高齢者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
後期高齢者	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
圏域	三田・三輪南	158	9.5	1.9	41.1	13.3	8.2	5.7	10.8	7.0	11.4	53.2	2.5
	三輪北・小野・高平	123	8.1	1.6	39.8	13.0	4.1	5.7	7.3	7.3	17.1	48.0	3.3
	広野・本庄	111	7.2	0.9	29.7	12.6	5.4	8.1	13.5	9.0	14.4	52.3	3.6
	藍	109	7.3	-	26.6	7.3	6.4	5.5	6.4	8.3	11.9	67.9	0.9
	フラワー	129	9.3	-	27.9	12.4	7.8	6.2	9.3	4.7	7.0	65.1	3.9
	ウッディ・カルチャー	133	8.3	2.3	33.1	9.0	5.3	6.8	8.3	5.3	7.5	61.7	2.3
状況認定	一般高齢者	522	5.4	0.4	23.9	7.9	3.4	4.4	8.6	7.7	8.0	67.2	2.5
	要支援1・2	223	15.7	3.1	55.2	19.7	13.0	10.3	10.8	4.5	17.9	36.8	3.1

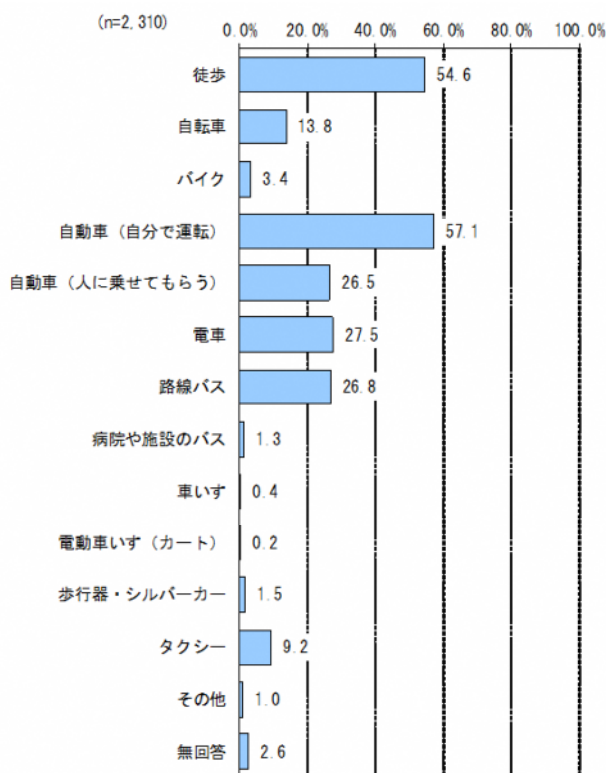
③ 外出の際の移動手段

●問16 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

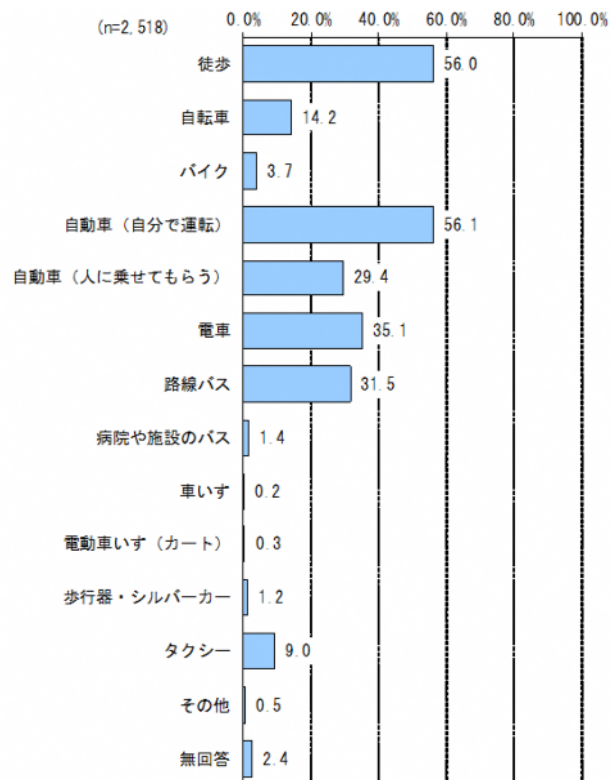
- 【全体】**
- 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 57.1%で最も多く、次いで「徒歩」が 54.6%、「電車」が 27.5%となっています。
 - 前回調査と比べて、「電車」が 7.6ポイント少なくなっています。

【外出する際の移動手段(MA)】

[今回調査 (R4 年度)]



[前回調査 (R 元年度)]



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。また、女性の前期高齢者では「自動車（自分で運転）」が65.7%となっていますが、女性の後期高齢者では22.2%となっています。

【圏域】

- 三田・三輪南、フラワー、ウッディ・カルチャーでは「徒歩」、三輪北・小野・高平、広野・本庄、藍では「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、「自動車（自分で運転）」が65.1%であるのに対し、要支援1・2では16.3%となっています。一方で、「自動車（人に乗せてもらう）」は、一般高齢者では22.7%であるのに対し、要支援1・2では47.7%となっています。

単位：%

	母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)							
		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運 転)	自動車 (人に乗せて もらう)	電車	路線バス	
全体	2,310	54.6	13.8	3.4	57.1	26.5	27.5	26.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	595	58.2	16.3	7.4	84.7	11.3	31.9	22.9
	後期高齢者	445	55.3	16.9	2.0	61.3	18.4	24.5	25.4
	女性 前期高齢者	575	56.0	14.8	1.9	65.7	29.6	29.6	25.4
	後期高齢者	654	49.7	8.7	2.0	22.2	43.0	24.9	33.2
	その他 前期高齢者	2	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-
	後期高齢者	2	100.0	-	-	-	-	-	-
圏域	三田・三輪南	455	62.9	20.0	4.6	43.3	27.3	28.1	18.7
	三輪北・小野・高平	381	26.2	5.2	3.4	64.3	27.0	6.8	19.2
	広野・本庄	325	38.8	8.9	4.3	68.6	24.6	18.2	9.2
	藍	341	49.6	6.7	2.9	67.7	26.4	33.1	27.6
	フラワー	382	76.7	20.4	3.1	51.8	26.2	36.9	40.1
	ウッディ・カルチャー	396	69.7	18.9	2.0	53.3	27.3	40.9	45.5
	認定状況	一般高齢者	1,888	56.8	14.7	3.8	65.1	22.7	29.6
要支援1・2	344	43.6	9.6	1.5	16.3	47.7	18.6	27.6	

単位：%

	母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)							
		病院や施設のバス	車いす	ト 電動 車い す(カ ー)	カ ー 歩 行 器 ・ シル バ ー	タ ク シ ー	その他	無回答	
全体	2,310	1.3	0.4	0.2	1.5	9.2	1.0	2.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	595	0.7	-	-	0.2	2.9	0.2	2.0
	後期高齢者	445	1.8	0.7	0.2	0.7	9.0	0.7	1.8
	女性 前期高齢者	575	0.2	0.2	-	0.5	4.9	0.3	2.1
	後期高齢者	654	2.8	0.8	0.6	4.1	18.5	2.8	4.0
	その他 前期高齢者	2	-	-	-	-	-	-	-
	後期高齢者	2	-	-	-	-	-	-	-
圏域	三田・三輪南	455	1.3	0.7	-	2.9	17.4	0.7	3.7
	三輪北・小野・高平	381	1.8	0.5	0.5	1.6	5.0	0.3	3.7
	広野・本庄	325	1.2	-	-	0.9	6.2	0.6	2.5
	藍	341	1.5	-	0.3	0.3	4.1	0.9	2.3
	フラワー	382	1.6	0.3	0.3	2.6	9.4	2.9	1.6
	ウッディ・カルチャー	396	0.8	0.5	-	0.3	9.8	1.0	1.3
	認定状況	一般高齢者	1,888	0.4	0.1	0.1	0.2	5.8	0.6
要支援1・2	344	6.7	1.5	0.9	8.4	25.9	3.5	4.4	

5. 食べることについて

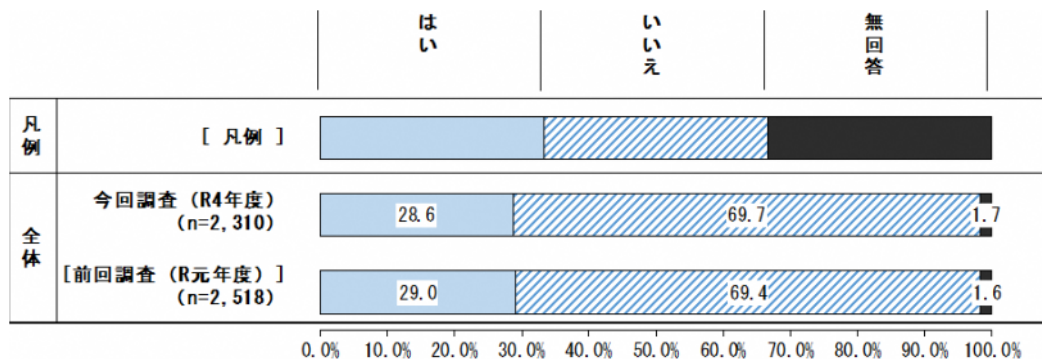
(1) 口腔

① 口内の健康状態

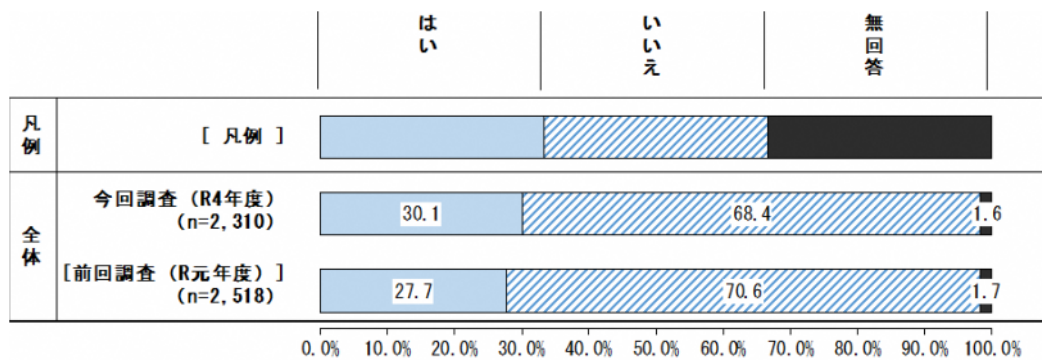
- 問18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)
- 問19 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)
- 問20 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)

【全体】	
○	半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 28.6%となっています。
○	お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 30.1%となっています。
○	口の渇きが気になるかについて、「はい」が 29.3%となっています。

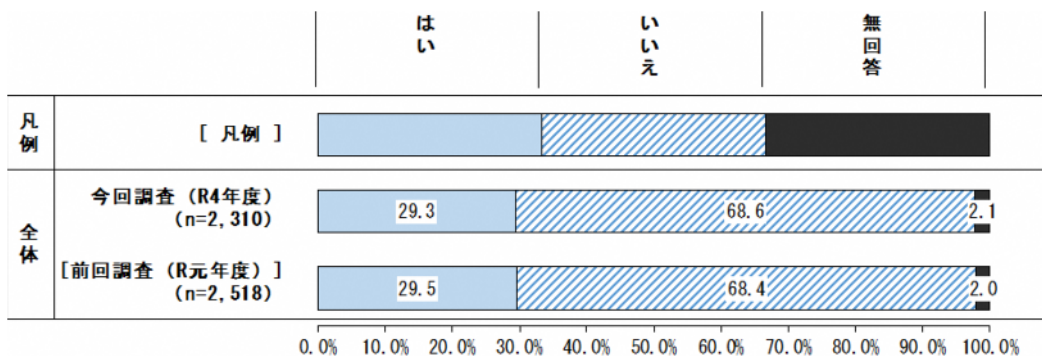
【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】



【お茶や汁物等でむせることがあるか】



【口の渇きが気になるか】



◆口腔機能の低下リスクの判定

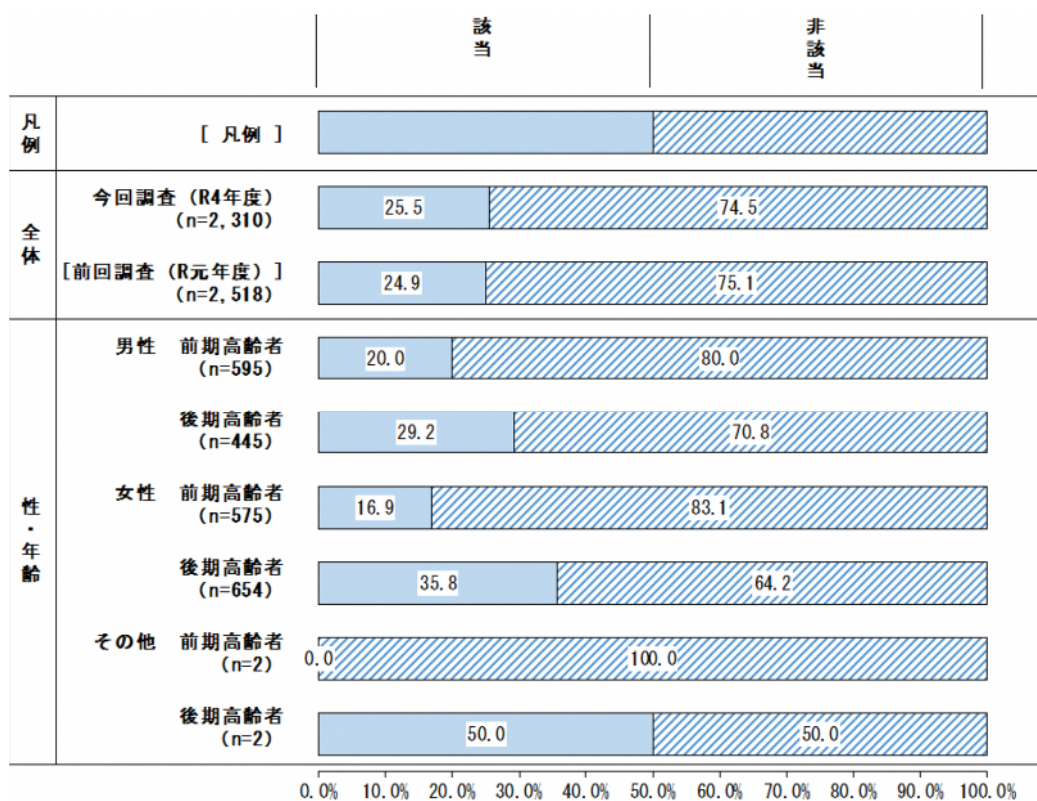
●リスク判定方法

3項目のうち2項目以上に該当する場合、「口腔機能が低下している」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
18	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
19	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
20	口の渇きが気になりますか。	1. はい

<p>【全体】</p> <p>○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当（リスクあり）」が 25.5%、「非該当（リスクなし）」が 74.5%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 男女ともに前期高齢者では「該当（リスクあり）」が約 2 割であるのに対し、後期高齢者では約 3 割以上となっています。</p>

【口腔機能の低下リスク】



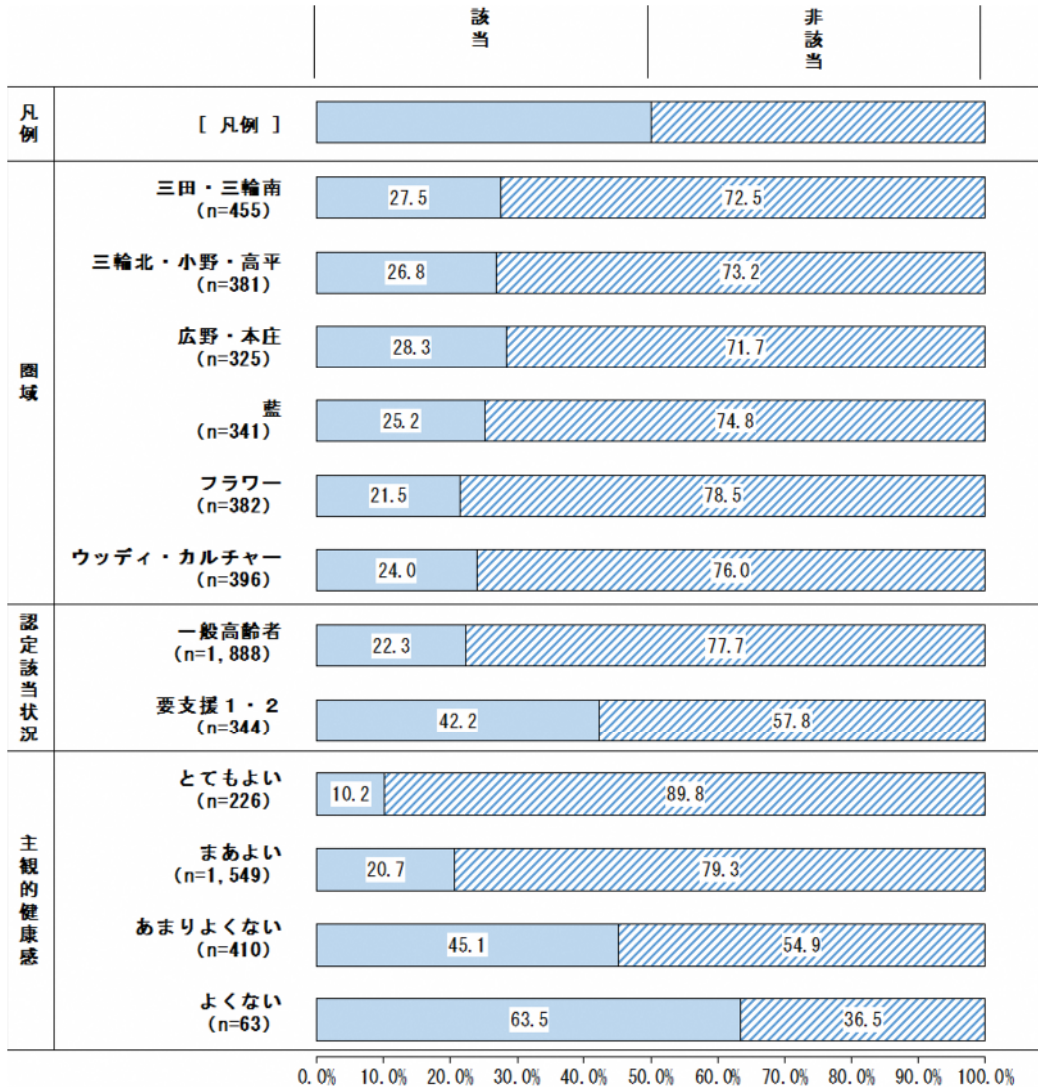
【認定該当状況】

○ 一般高齢者では、「該当（リスクあり）」が 22.3%、要支援 1・2 では 42.2%となっています。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくない人ほど「該当（リスクあり）」が多くなる傾向がみられます。

【口腔機能の低下リスク】

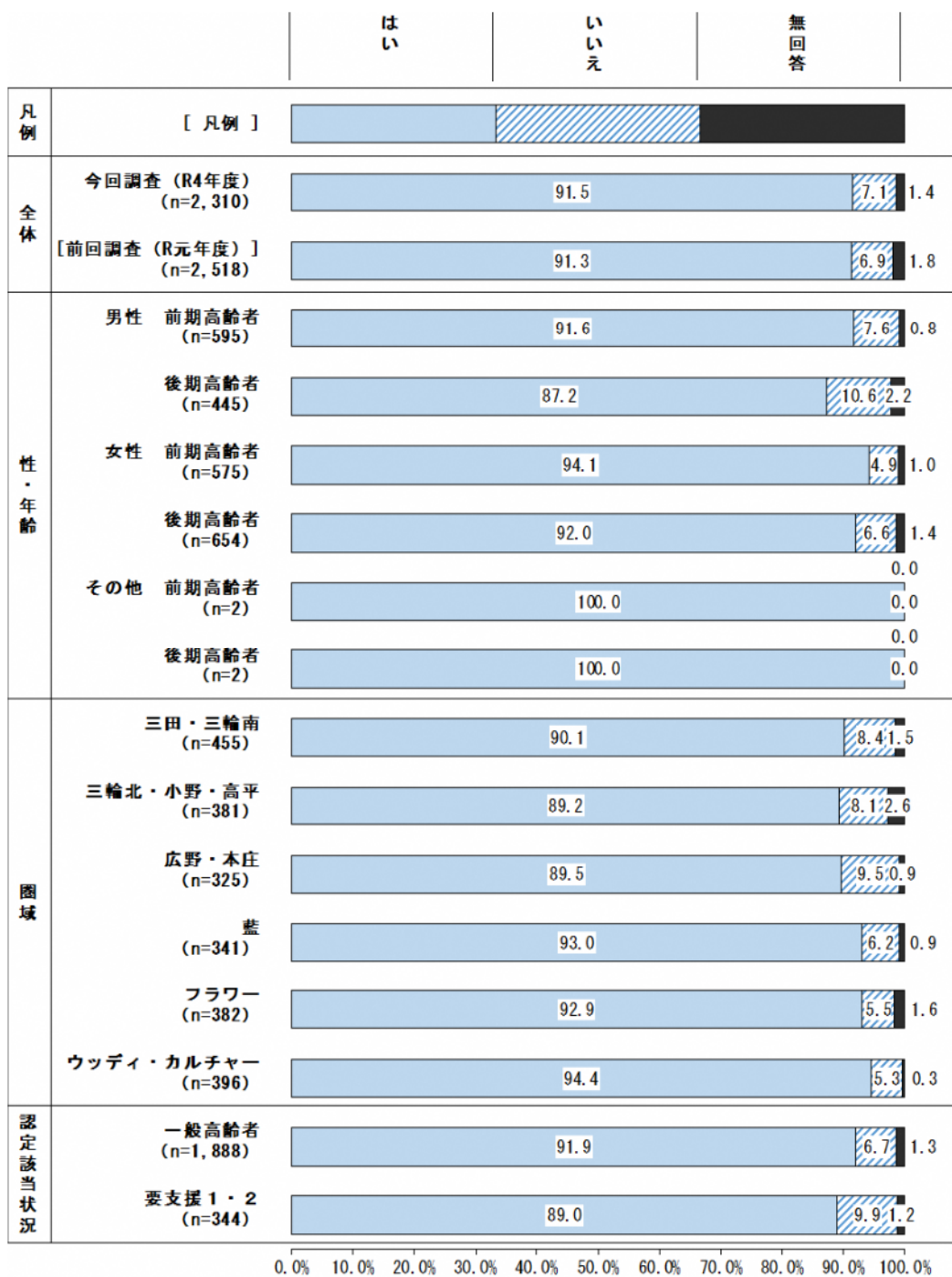


② 歯の状況

●問21 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ）

【全体】
 ○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が 91.5%、「いいえ」が 7.1%となっています。

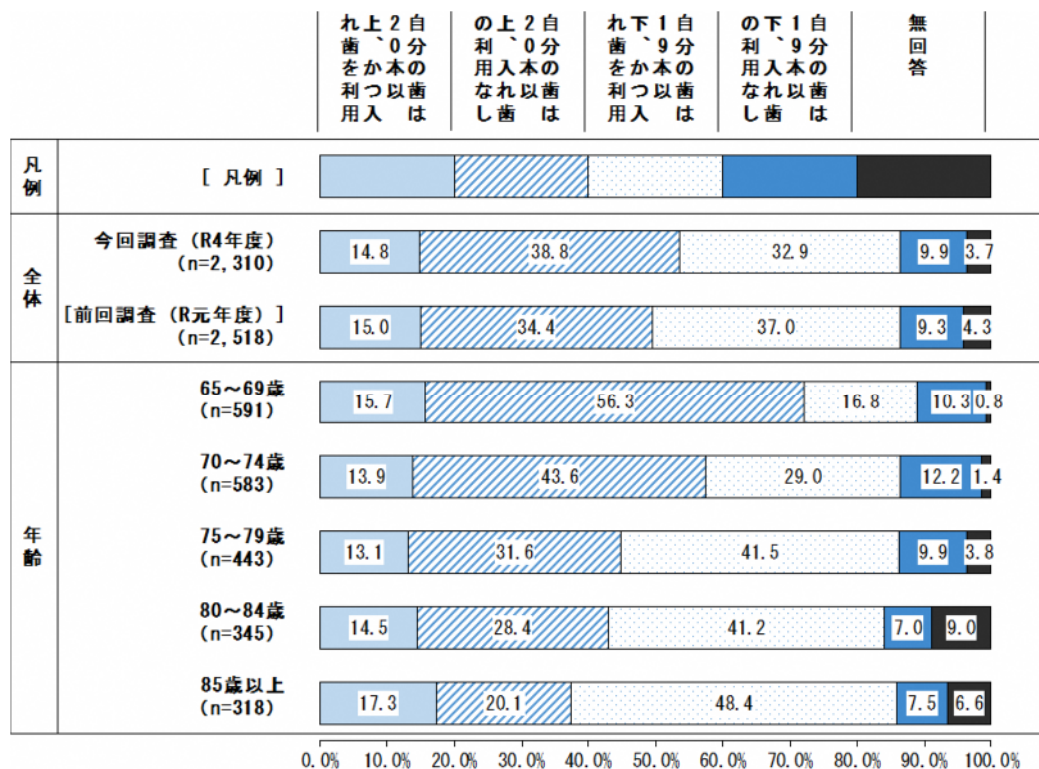
【歯磨きを毎日しているか】



●問22 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つだけ)

- 【全体】**
- 歯の本数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 38.8%で最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 32.9%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.8%となっています。「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた“自分の歯は 20 本以上”は 53.6%となっています。
- 【年齢】**
- “自分の歯は 20 本以上”は、80～84 歳で 42.9%、85 歳以上で 37.4%となっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況】



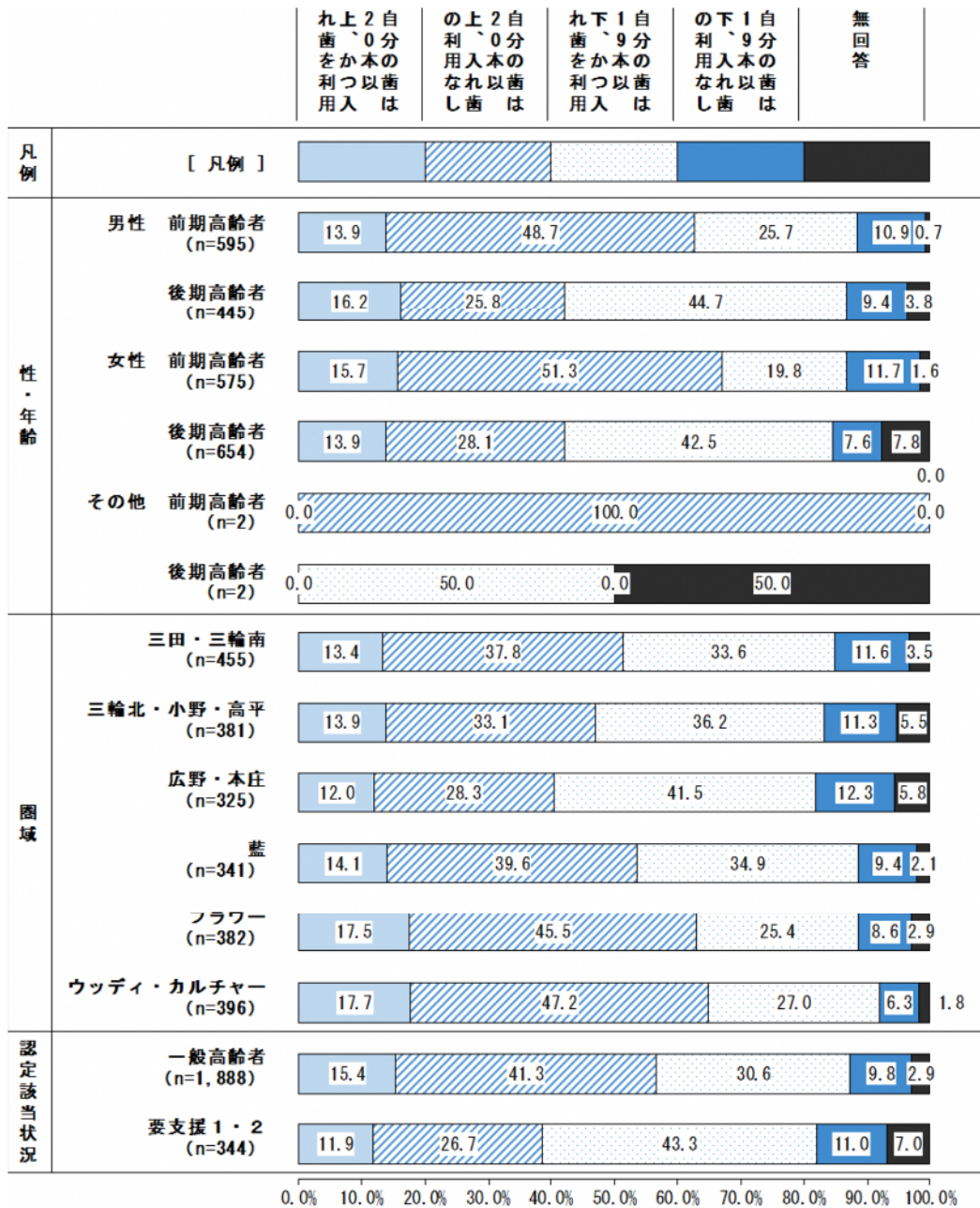
【圏域】

○ 広野・本庄では他の圏域に比べて“自分の歯は 20 本以上”が 40.3%と少なくなっています。また、フラワー、ウッディ・カルチャーでは約 6 割と多くなっています。

【認定該当状況】

○ 一般高齢者では、“自分の歯は 20 本以上”は 56.7%であるのに対し、要支援 1・2 では 38.6%となっています。

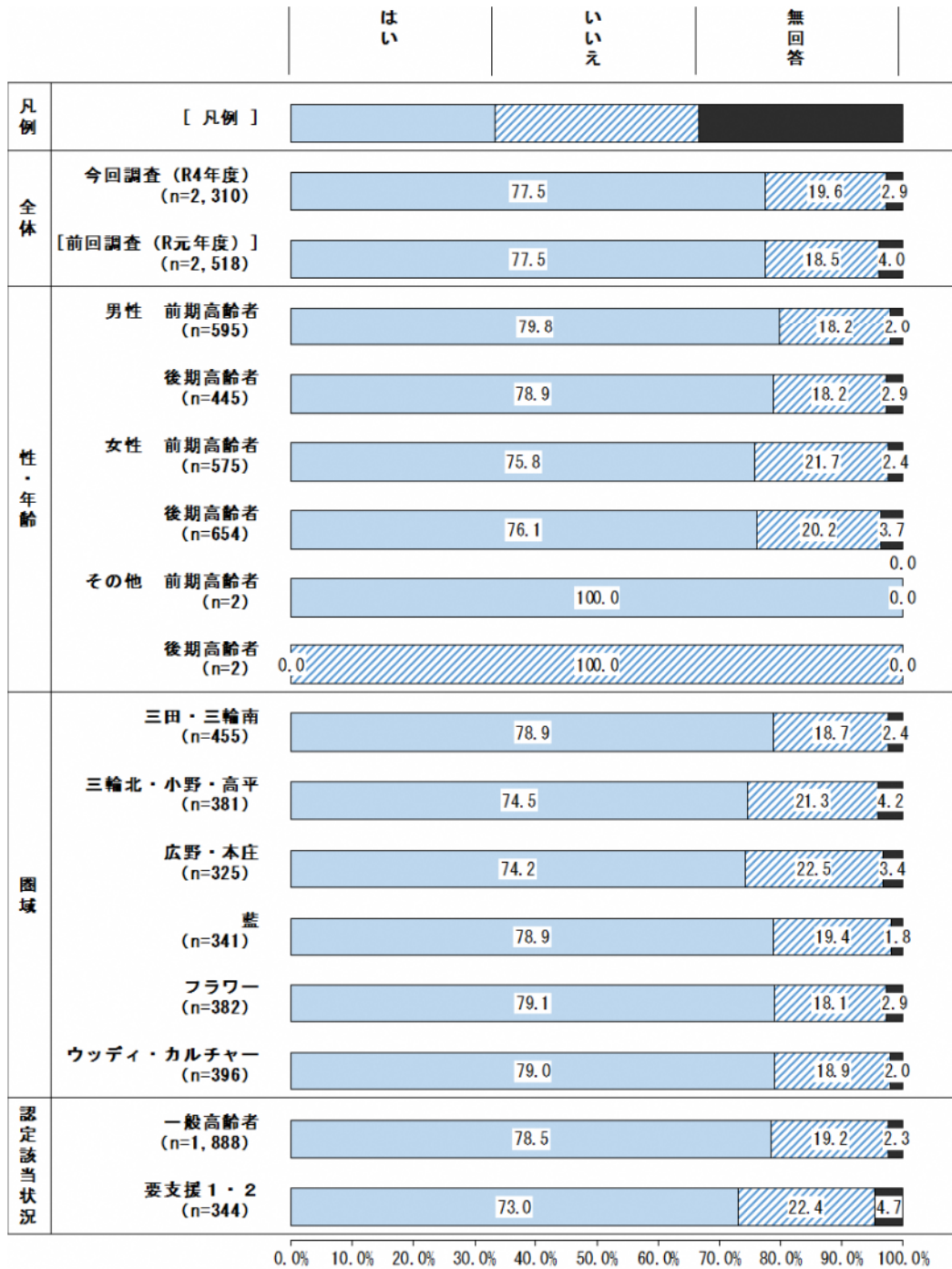
【歯の数と入れ歯の利用状況】



●問23 噛み合わせは良いですか。(1つだけ)

【全体】
○ 噛み合わせは良いかについて、「はい」が77.5%、「いいえ」が19.6%となっています。

【噛み合わせは良いか】

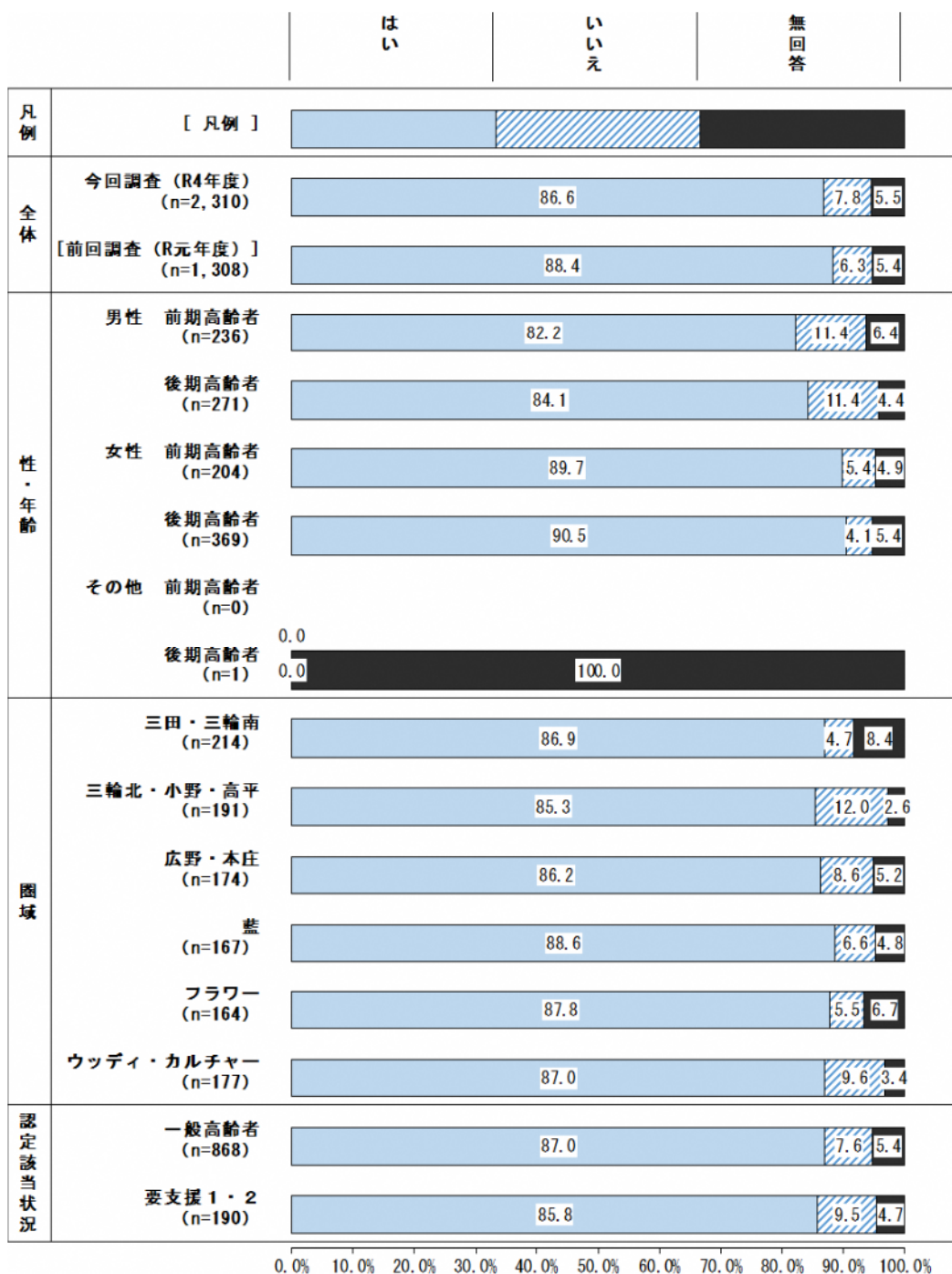


●問24 「入れ歯を利用している方のみ」毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が86.6%、「いいえ」が7.8%となっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。

【毎日入れ歯の手入れをしているか】



(2) 栄養

① 体重の状況

●問17 身長・体重を教えてください。

◆低栄養が疑われる高齢者

●判定方法

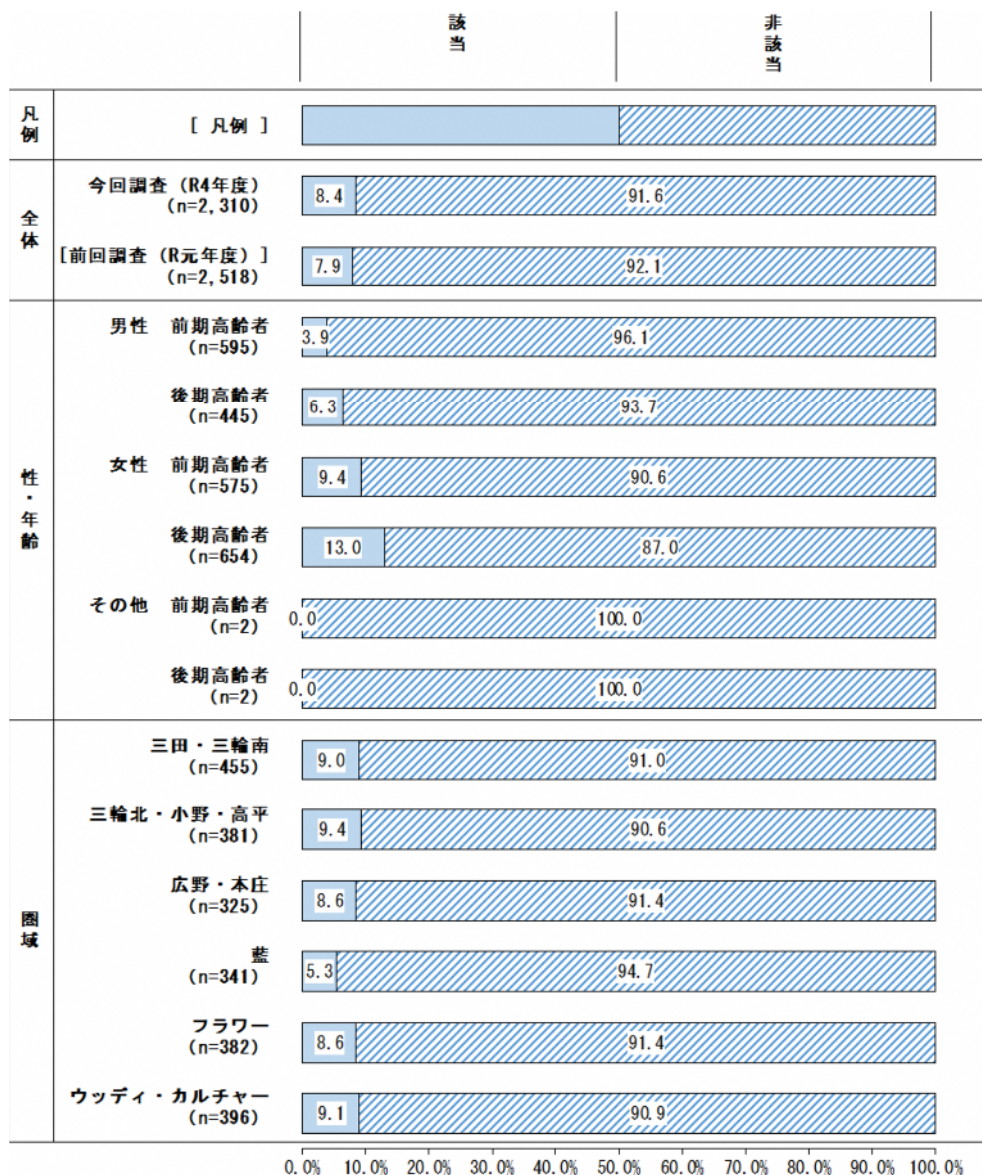
身長と体重から BMI（肥満度を示す体格指数）を算出し、下記に該当する場合、「低栄養が疑われる高齢者」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する場合
17	身長・体重を教えてください。	BMI:体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)} = 18.5 以下

【全体】

○ 低栄養が疑われる高齢者について、「該当」が 8.4%、「非該当」が 91.6%となっています。

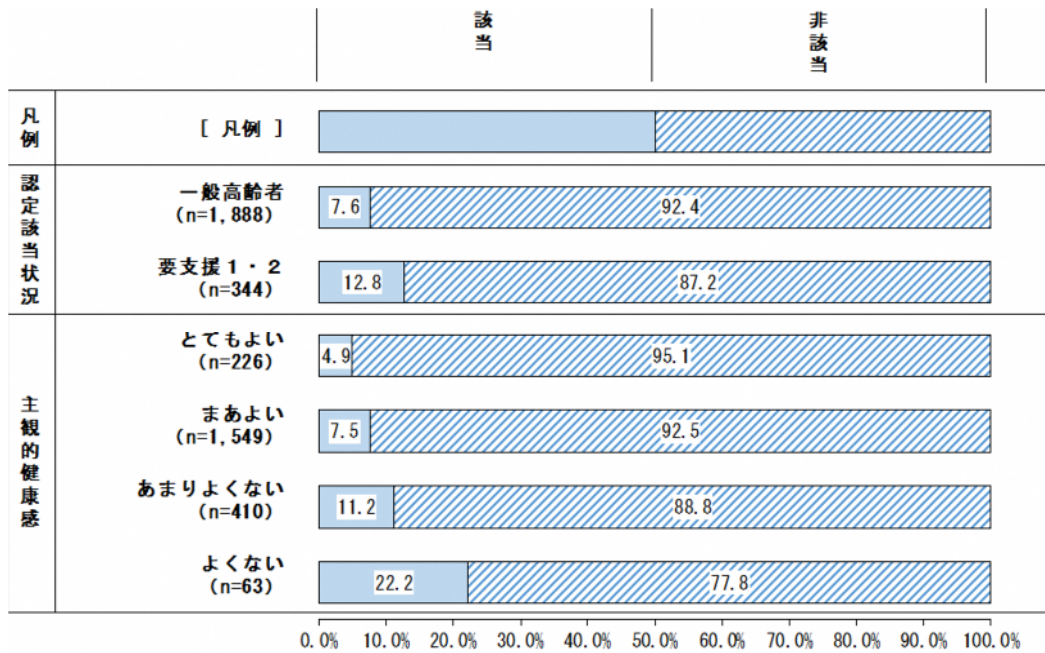
【低栄養が疑われる高齢者】



【主観的健康感】

○ 健康感がよくない人ほど「該当（リスクあり）」が多くなる傾向がみられます。

【栄養改善のリスク】

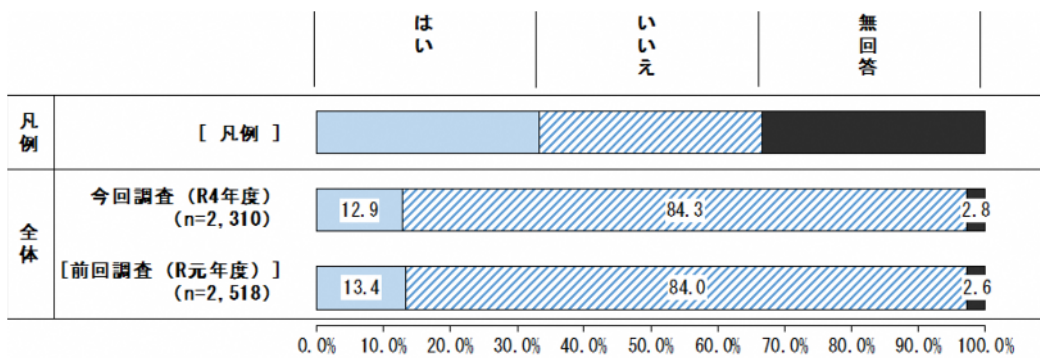


●問25 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ)

【全体】

○ 6か月間で2～3kgの体重減少があったかについて、「はい」が12.9%、「いいえ」が84.3%となっています。

【6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】



◆低栄養のリスクの判定

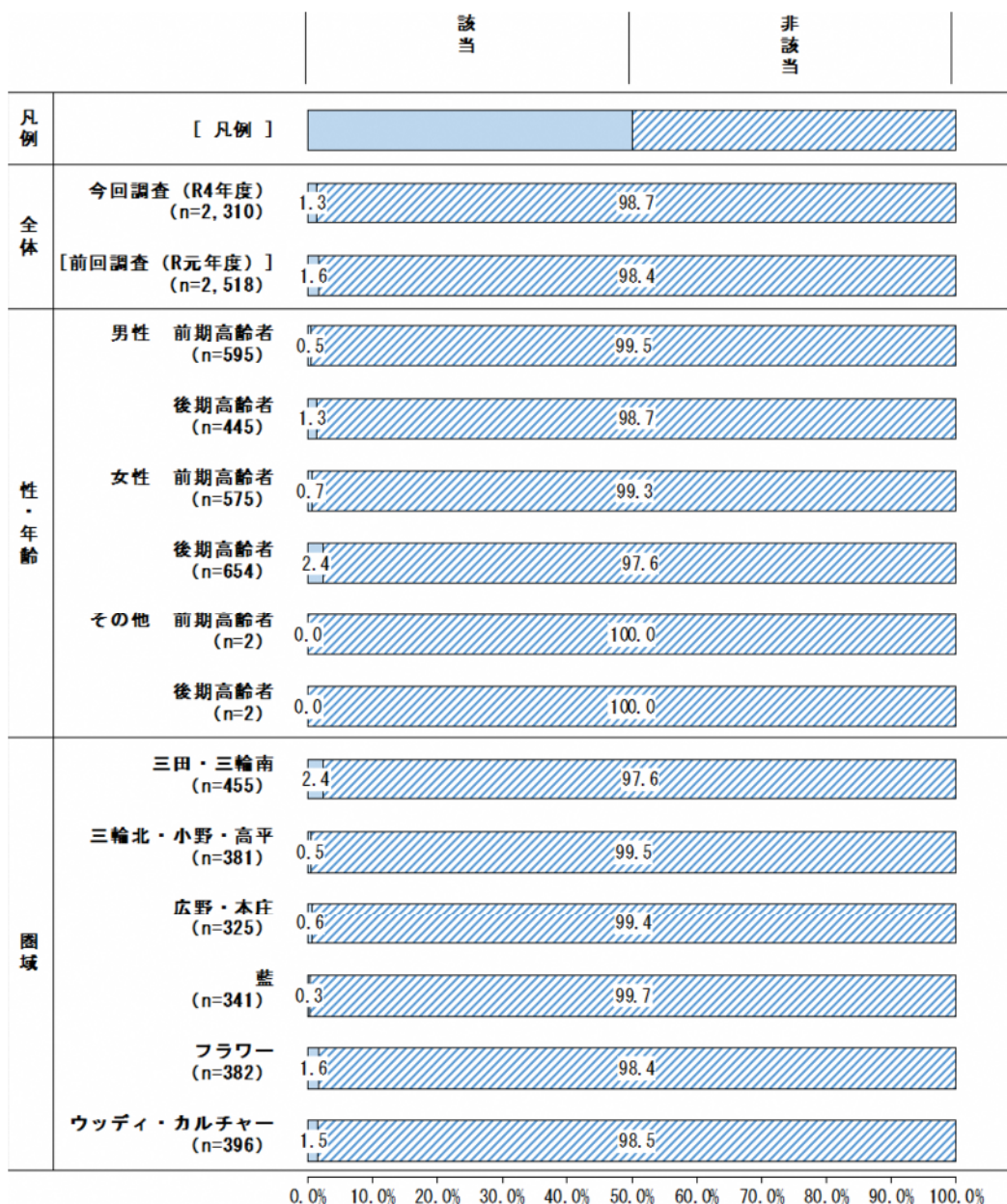
●リスク判定方法

2項目ともに該当する場合、「低栄養状態にある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
17	BMI：体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}	18.5 以下
25	6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【全体】
○ 低栄養のリスクについて、「該当 (リスクあり)」が 1.3%、「非該当 (リスクなし)」が 98.7%となっています。
【性・年齢】
○ 女性 後期高齢者では、「該当 (リスクあり)」が 2.4%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 三田・三輪南では、「該当 (リスクあり)」が 2.4%と他の圏域に比べて多くなっています。

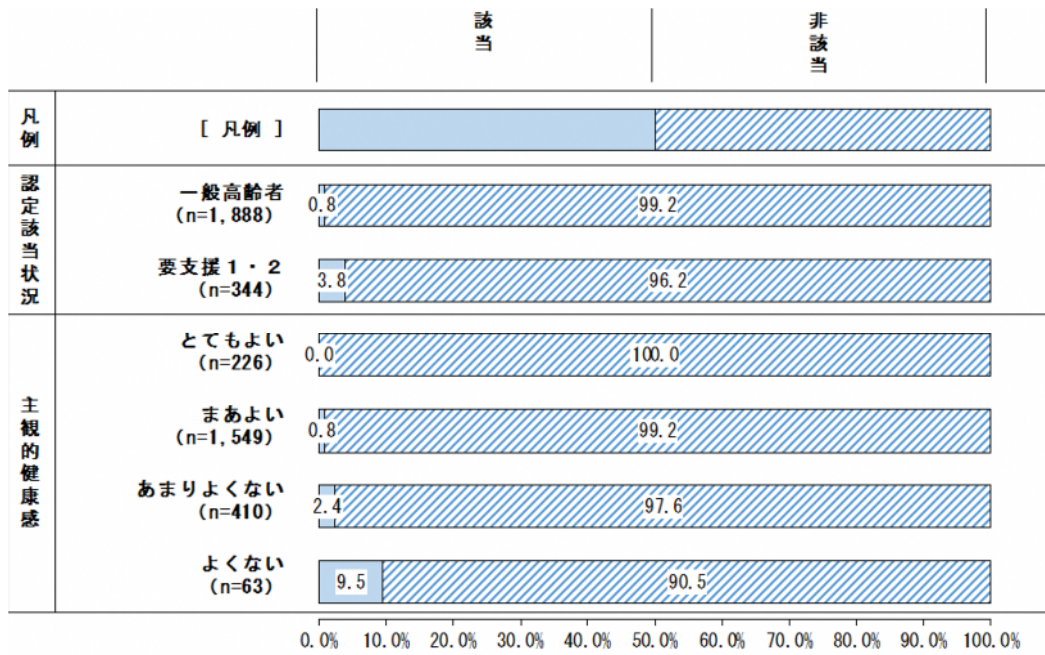
【低栄養のリスク】



【主観的健康感】

○ 健康感がよくない人では「該当（リスクあり）」が 9.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【低栄養のリスク】

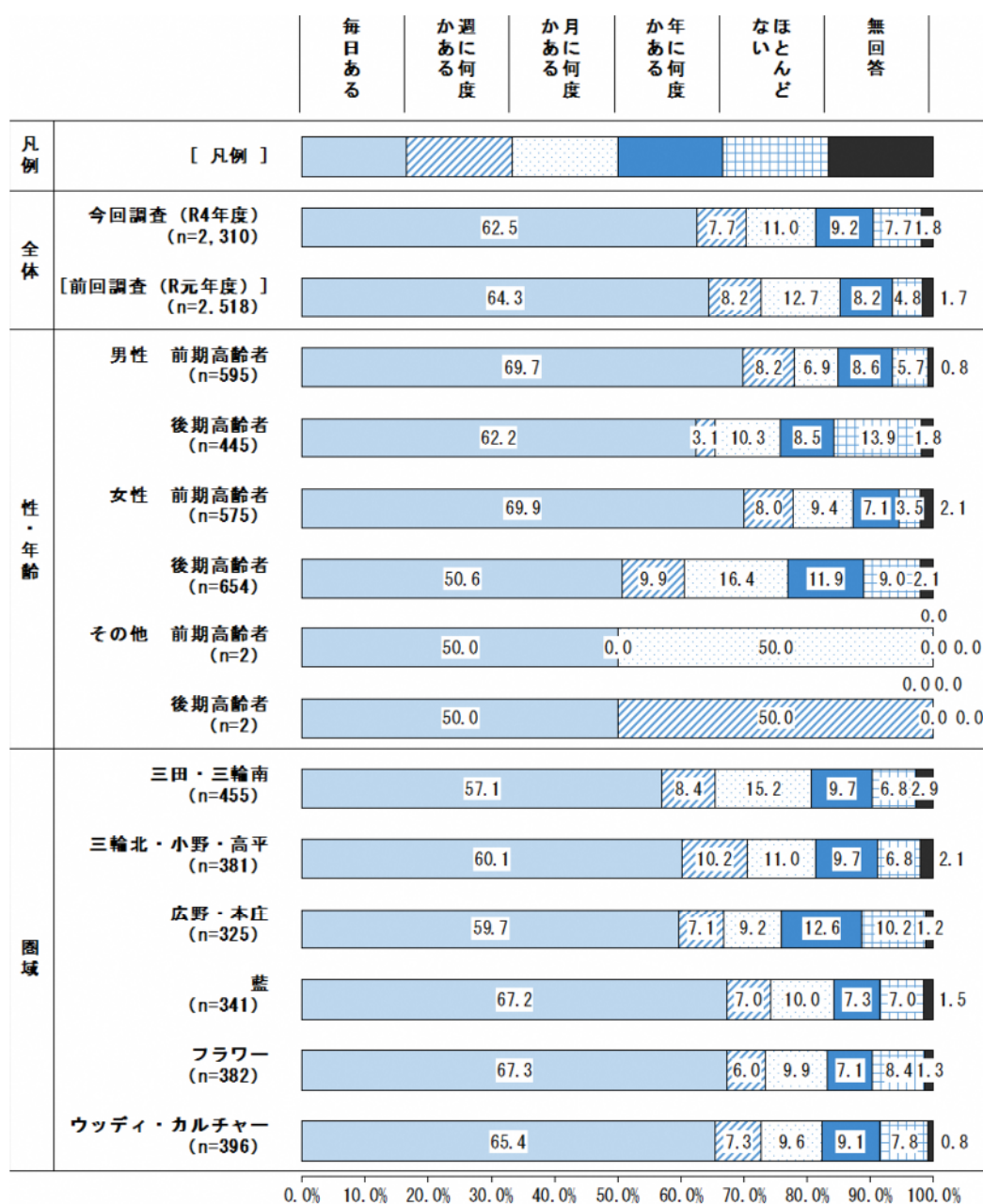


② 孤食の状況

●問26 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ)

【全体】
○ 共食の有無について、「毎日ある」が62.5%で最も多く、次いで「月に何度かある」が11.0%、「年に何度かある」が9.2%となっています。
【性・年齢】
○ 女性の後期高齢者では「毎日ある」が50.6%と他の区分に比べて少なくなっています。
【圏域】
○ 三田・三輪南では他の圏域に比べて「毎日ある」が少なく、「月に何度かある」が多くなっています。

【共食の有無】



【認定該当状況】

○ 要支援1・2では一般高齢者に比べて「毎日ある」が少なく、「ほとんどない」が多くなっています。

【家族構成】

○ 一人暮らしでは「毎日ある」が5.3%と他の区分の約7割に比べて少なく、「ほとんどない」が20.3%となっています。

【幸福感】

○ 幸福感が低くなるほど「毎日ある」が少なくなる傾向がみられます。

【閉じこもりのリスク】

○ 閉じこもりのリスク該当者では非該当者に比べて「毎日ある」が少なく、「ほとんどない」が多くなっています。

【共食の有無】

